

学科	観光文化学科
氏名	谷本 仰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	対話を大切にしています。
---	--------------

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	テストと、授業毎に回収するアンケート、授業評価アンケート、授業中の対話そのものによって。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容的に妥当であるとする。この大学の建学の精神、礎や柱そのものとしてのキリスト教を学ぶこの授業で目指されているのは、知識の習得や理解だけではない。聖書・キリスト教が語ってやまないメッセージそのものを分かちあうことこそ、この授業の核心である。希望、愛、いのち。諦めないこと。自分を大切にすること。他者を大切にすること。それは「理解」し「知る」だけでは不十分である。それらは経験されねばならない。そしてそれらは学生たちのいのちそのものを少しでも支えるものであってほしいと願う。学習到達度の自己評価を超えて、この授業を通じて分かち合われたものが、「種」のようにひとりひとりのいのちに満たされていくことを願っている。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特に大きな改善課題はないと考える。クラス毎に、学年ごとに、個性があり、違いがある。その個性や違いに応じながら、今後も授業を進めていきたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生たちと共に過ごす毎授業はとても楽しく、刺激的で、自分自身にとっても学びに満ちていました。感謝。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
宗教と人間	1・2・3・4	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①「学生の授業評価アンケート」により受講生を見ると、受講動機は「関心がある内容である」が66.7%であり、「単位取得に必要である」が50%で、「友人が履修している」が16.7%であり、かなり高い。しかし、キリスト教以外の宗教に関する知識や理解は概してないのが現実である。そこで、宗教が人間にもたらす豊かさを説明し、宗教を学ぶ意義を明らかにした後で、日本における代表的な宗教、すなわち、神道、仏教、キリスト教を時代順に説明し、その上で、イスラム教を取り上げることとした。②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講生が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与えられるというシステムを取り入れ、授業への参加意識を高める工夫の一つとした。③ クラス自体は24人の構成であったので、関心をもてるように折々に対話形式とし質問を引き出し答える形で進行することにした。④ 身近な学習となるように中間的まとめとして、宗教の映像を用い、それまで学んだことと実際の生活とがどのように結びつくかを自ら考え確認することができるよう計画した。⑤ 期末試験では、その準備の過程で、受講生が宗教に関して知識を正確なものとし、理解をより深めることができるように工夫した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	① 成績を見ると、平均値は80.08点であり、再試対象は0名であった。分布的には90点以上が3名、89～80点が5名、79～70点が3名、69～60点が2名であった。61.54%が理想的レベル(概ね80点以上)に達した。これは、受講生が24名という構成であったことから、知識習得と理解の可否を出来るだけ口頭で確認し、質問に答える時も全員が知識を確認し理解を深める工夫を心掛け、学生も関心を持って授業を受け、十分な準備をして試験に臨むことができたことの結果であると評価できよう。② 学生の達成自己評価を見ると、＜知識習得＞の事項では、「かなり」「わりに」「まあまあそうだと思う」の順に「1,7,5」であり、＜理解＞の事項でも「1,5,7」、＜意欲＞＜専門分野での技術＞の事項では「0,3,10」、＜専門分野での課題を検討する力＞＜専門分野での確に判断する力＞の事項では「0,1,12」、＜規範習得＞の事項では「0,5,8」とあり、いずれも100%の肯定的回答であった。これに対し、＜コミュニケーションと表現力＞に関する事項では「0,1,11,」で、また、＜職業選択の参考になった＞に関する事項では「0,4,8」であって、それぞれに「少しそうでない」という否定的回答者が1名あった。そして、肝心な＜自分なりの目標を達成した＞という事項では、「かなり」「わりに」「まあまあそうだと思う」の順に「1,3,9」となり、100%の肯定的回答であった。③以上の目標達成状況を見ると、全体的に達成されていると言えよう。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超えた学習上、その根本となる総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。「若者の宗教離れ」という現代に、神道、仏教、キリスト教、イスラム教という日常的にそれほど接触しない様々な宗教を21世紀の生身の人間と関連させて理解する関心を、学生が授業のすべてに関して維持することは大変なことである。全員が＜自分なりの目標を達成した＞と自己評価出来たということに鑑み、内容的には妥当であったと考える。②DPの位置づけを検討すると、上記の通り、学生の達成自己評価を見ると、社会人としての基礎的学力を修得し、「ツーリズムとビジネスの領域でもつ広い＜知識＞＜理解＞に関する事項では100%の肯定的回答がなされている。また、専門分野における現代社会の実態をとらえ問題解決に必要な＜検討する力＞＜判断する力＞、地域・諸外国の問題につき関心と貢献への＜意欲＞に関する事項でも同様に100%の肯定的回答がなされている。＜規範習得＞についても同様だが、＜技術・表現＞の事項につき、肯定的回答は92.31%であった。このことから、DPの位置づけとしても内容的に妥当であったと考える。③以上から、内容的には問題はないと考える。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①学生の担当教員への意見は1件で。「英語などでは学ぶことのできない内容」で「楽しかった」という肯定的なものであった。授業を各宗教のテーマにそって広く展開した工夫の結果であると思う。②学習量の評価をみると、予復習に<1回30分以上>を1回以上実施した学生が8名で61.54%あり、その内で2,3回実践した学生が3名であった。授業の進め方に関して授業の質評価を見ると、否定的な回答は0であり、<評価基準><質問と回答の機会>については「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「1,3,9」と肯定的な回答が100%であり、<理解>に関しては「2,5,6」と肯定の度合いが高かったが、<参加の機会>では「0,4,8」であり、無回答が1名あった。③ 以上を踏まえるとき、いずれの事項もより「かなり」と評価される方向をめざして工夫をしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	①授業準備として、若者の宗教離れで宗教が身近でないことから、一層身近な事柄に翻訳して講義する必要がある。また、評価基準と課題は、最初に明示するだけでなく、折々に喚起し明示する必要がある。③ 総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらし得ることにある。「学生の授業評価アンケート」に「かなりそうだと思う」という回答が多くなるようにするには、<知識>が習得されたことを確認しながら進めることが必要である。特に新しい知識の習得に当たってはその確認が一層重要である。それには<参加の機会><質問に答える機会>が提供されていると学生が意識でき活用できるようにすることが重要であり必要である。③ 以上から、内容は妥当であるが、方法論としては、今後も明示と整理と確認の作業を繰り返すこと、身近なことに翻訳すること、参加の機会と質問に答える機会を活用できるようにすることが、今後の課題と思われる。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ジェンダー論	1・2・3・4	前期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機では、「単位数を確保する」を挙げたものが66.7%、「関心のある内容である」を挙げたものが45.8%である。関心のある学生も半数近くはいるが、全ての受講者に積極的な受講姿勢を期待し難い状況の中で、新聞記事を始めとして、できる限り最新の情報を使って、ジェンダーが現在の女性の生き方に係わる大切な問題であることをつかめるように心がけた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は78で、秀が20%、優が32%、良が20%、可が28%と拡散したが、優以上が過半数だった。到達度自己評価では、全ての項目で中央値以上だったが、特に、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」と「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目が高めだった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、総合人間科目の一つで、DP1、DP2に係わる位置付けがなされている。到達度自己評価が、上記のように、知識を得る、事象を理解する視点を得る項目で高かったので、内容的妥当性はあったと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、毎回、テーマに沿って、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に際しては、最新の新聞記事も使って、ジェンダーをめぐる今日の問題が捉えられるようにした。授業の中で使用したキーワードについて整理させるレポートを課したことは、理解を整理する上で有意義であった。また、アメリカの「中絶論争」について考えさせるレポートを課したことも、思考を深める上で有意義であった。しかし、予習・復習については、学生任せにしたきらいがあり、教員には、課題を具体的に与える姿勢が求められた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義を通して、ジェンダー問題に関して基本的な知見を与え、関心を深めるという課題は、一応達成できた。しかし、アクティブラーニングを促す工夫については、なお改善の余地が大きい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
西洋の音楽と文化	1・2・3・4	前期	選択	はい	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機を見ると、「関心のある内容である」と「単位数を確保する」の選択率がどちらも50%以上であり、音楽文化に関心を持つ学生が積極的に受講していることを示唆するものであった。できるだけ、学生のニーズに合った授業内容を提供していくようにしている。②学生の授業理解と関心を把握するために、毎回の講義内容をどのように理解したか、感想を含めて記入し、提出するよう新たに指示した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均点は75点であり、再試対象者は2名であった。理想的レベルに達したものは、29名であった。課題の中間レポートにおける知識理解の評価は70%で、意欲関心は65%であった。知識理解が意欲関心につながるよう、次年度に向けて工夫したい。授業中は数名が積極的に発言するなどの態度が見られたが、学生による授業評価アンケートの到達度自己評価における平均値は3.2であり、同じ科目を受講した他学科（英語学科）よりも約1点低かった。知識理解と意欲関心が相互に向上するよう、工夫および改善していきたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性：本科目は、学科横断的科目であり、異文化に意欲関心を持って、基礎的知識を獲得し、音楽文化を多角的に理解し、総合的・分析的視点で学ぶことができるよう工夫しているため、内容的には妥当であると考えます。②DP、行動目標からみでの内容的妥当性：昨年度に比べて、この講義に関心を持つ学生が増加し、授業に対する積極的な態度が見られた。学生の意欲関心が成績と目標達成状況の向上につながるよう工夫したい。③まとめ：以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年度、「ノートの記述が多くて大変だった」との意見が出されたため、今期は配布資料の内容を工夫した。配布資料について、とくに学生からの意見は出されなかった。授業の質評価における平均値は3.4であったが、学生の評価は「全くそうでないと思う」から「かなりそうだと思う」まで様々であるため、講義内容および評価基準をより具体的に説明し、引き続き改善を行いたいと考えている。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	西洋音楽の歴史的概観を捉え、基礎知識の獲得については概ね達成できたと考える。昨年度課題とした、知識理解だけでなく、思考能力を養い、意欲態度の向上、および内容の充実を図っていきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
総合人間学概論	1	前期	必修	はい	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①授業回数が8回であり、学生には欠席は二回までが限度であることを伝えた。②学生の準備性については、必修科目であることが100%で、次いで単位数を確保するが18.8%であり、内発的な動機が高いとは言えない。これは例年のことであり、人文学部の両学科の一年生が対象であり、これから4年間の時間がある学生に関心があることを伝えるようにして、学習意欲を高めるようにはしている。③過去二年間は、提出課題は2種類（両学科長の担当回についてのレポート）、7月下旬を締切とするレポートであったが、これに、もう1回分（最終回授業分のレポート）を加えて、評価を細かくした。このレポート追加の目的は、授業を聞いて、その時間内での提出レポートであることで欠席が少なくなるようにしたことでもある。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①最終的な成績を出す原資料として、レポート三回分を見ると、最も配点が大きな最終レポートは、60点満点で平均55.3点であった。ここは学生側にレポート作成に2週間程度の時間があり、そこでかなりのリサーチがなされていたことが分かった。これは、DP1-1（知識・理解）が、学生の評価では4.0であり、到達度自己評価の中では最上位であったことから、妥当であろう。② リサーチが十分であったとしたが、授業評価の「図書館利用」では、三項目中、（1）の「図書館の図書、雑誌を利用した」が、回答者48名中4名で最多であった。大学に入学したばかりであり、他の授業科目との連携が前提だが、図書館の利用を促すように、さらに検討を進めたい。③2回の授業レポートと3回目のレポートの成績には明確な対応関係がある。日頃の授業の取り組みが熱心な学生は、最終レポートも優秀である。このことから、日頃しっかり授業に出ることが大事であると、強く訴えたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①総合人間科学に位置するこの必修科目のキーワードは、「感恩奉仕、問題意識、健康、キャリアデザイン」である。これらのキーワードで、DP1とDP4をカバーしている。全8回で、各回の担当者が異なる構成であり、それぞれの回が、これらのキーワードを全て担うわけではない。どれかに特化した内容であり、全体としては、DP実現を担保できるようになっている。それは、最終レポート内容で判断できる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業評価の授業の質評価で、（４）授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が散開する機会が作られていたが、平均点2.5である。また、（５）口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていたが、平均点2.7である。平均点が3を切ったのはこの2つの項目だけである。学部単位であり、担当者が毎回変わる方式であり、どのような方法が、学生の参加を生み出せるのかを検討していきたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	①総合人間科学の1年前期に、8回の講義から成る授業である。大学生全員が受ける授業科目であり、西南女学院の大学教育の根幹をなす柱の一つであり、基礎的知識理解については概ね達成できた。D P 4 の態度については、出席状況や受講態度からの判断が中心であるが、授業そのものの中に直接取り込んでいる回（最終回）もあった。②最終レポートは、一度発表した締切を延期したことがあった。これは、学科行事とぶつかったことが原因であり、学生にゆとりをもたせるためにも、次年度は前期全体を見通して日程を考える必要がある。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
行動科学	1・2・3・4	前期	選択	はい	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生との対話ある講義を心掛けたいと準備した。講義の導入に当たり学生の興味・関心のある内容を話すために、毎講義の最後に本時の講義に対する感想や質問を書いてもらうこと死している。本時終了後にその内容を精査して回答や問題定義を考えて講義に臨んだ。このことでスムーズに講義の内容には入れた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	講義に対する評価は一定の成功を示していると思われる。それは以下の3点においてである。①成績評価のほとんどが平均以上の結果を出している。②自由記述の欄に、「ためになり、わかりやすく、面白い講義であった」と講義者の狙い通りのコメントが見られた。③学生の出席状況からみて、欠席傾向のあるものを除けば、95パーセント以上の学生が講義15回の90パーセント以上の頻度で参加していることは学習意欲の高さが示唆される。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機や自由記述を概観すると「心理学的なことに興味を持っている」「人間行動の不思議を知りたい」「人の心を理解するために必要」など心理的な知識やそれを応用したいとの意欲が伺われるので、その成果から勘案してこのカリキュラムマップと講義内容との整合性は妥当であると思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方と改善課題については大きな反省がある。コミュニケーションの話を学生にすることが多いが、自分の授業が対話式のコミュニケーションを図っているかという点と難しい。どちらかというと一方に偏りがちであった。これは質問を投げかけてもなかなかそれに応える学生がいないことにも起因しているが。それでもやはりツウエイの授業を実現する努力をはかりたいと思う。今後の大きな改善課題である。努力を継続したい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	達成状況の総括的評価は3段階A, B, C評価のBの上ではなかろうか。授業はアートだと思う。授業者の体調、意欲。内容の鮮度。それに受講者の体調や意欲と能力、抱える日常の悩みなどが微妙にからみ合う相互行為である。なそうとしても良い授業ができない場合もある。しかし良い授業ができたときはすぐわかる。終了後に出ていく学生の顔に如実に表れる。おいしい料理を食べたときと同じ顔になると経験的に思っている。本年度はその数においてやはりBの上であった。努力を重ねたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学	1・2・3・4	前期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系の内容の把握させることに重点を置いた。受講の動機（19人回答）が「関心があった受講した」と答えた者が42%で、その他は「単位数の確保」と答えた者が58%で、6割の学生は興味が充分でないも関わらず選択していた。健康に情報は近年メディアを通して日常的に断片的に触れている。トピックス、ダイエット、体作りを取り上げながら、自己を含め人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。授業計画では小テストを単元毎に設け、予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませよう促した。小テストは1週間以内に採点結果を各学生に示した。学生は小テストに出る問題を推測しながら予習をして授業に参加するようになり、授業で内容を理解しようという姿勢が見えるようになり、小テストのための復習をすることが当たり前のこととして定着していったように感じられた。1度目の小テストが終了した頃からクラス全体に予習復習が態度として表れたと感じられた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は71点であり、再試対象は1名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは8名と、問題の難易度から言って高いとは言えなかった。「目標達成できた」と答えた学生総数は19人(19人中)で100%という高値となり、学生の達成感と満足感が良いと考える。目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は19人(100%)、「事象理解の視点を得た」と思う者は19名、「課題検討力」を得た者17名、「判断力を得た」19名、「学習意欲が得られた」19名、「必要技能を得た」16名、「表現力の向上」16名、「倫理規範獲得」16名、「職業選択の参考」16名とその程度はまあまあという学生が多いが、自己評価ではまんべんなく達成感を持たすことができた。思考判断に関する質問では18(94%)であった。意欲関心も高く19人(100%)と高値を示した。観光文化学科の学生に取り、新鮮な知識として受け取られていると考える。今後、関心と成果のギャップを埋めるよう、授業目標の達成度の程度を高めるような方法を取り入れたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	① C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美学的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めたていたことから、内容的には文系の学生にも妥当な内容であったと考える。 ② D P、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から、方法的妥当性は十分あったと思われる。 ③ 「受講動機」が曖昧な学生が多かったが、「学習到達度の自己評価」は十分得られ、観光文化科の学生に妥当な内容であったと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、予習を全くしなかった者が11名（19名中）、復習をしなかった者が13名と予想より多かった。シラバスを参考にしなかった者が8名（19名中）、授業計画を立てなかった者24名、図書館、データベース、インターネットの利用者は2名に過ぎず、予習・復習の時間が想定より少なかったことは反省点である。次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。授業過程を振り返ってみたとき、じっくり検討を加える時間がなかったため、予習課題の提示などで改善を図りたい。以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。配布物に対する学生の意見を取り入れ、来年度に改善を行いたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学実習Ⅰ	1・2・3・4	前期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講者は、学期の始講と最終講に、体力測定および体組成（体脂肪量等）の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように務めた。②3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外に、また将来にわたり自ら運動処方できるよう誘導した。③各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターを装着させ、自己の運動量を把握させ、運動意欲を喚起した。④1および3について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。⑤健康科学実習Ⅰでは、入学直後であることも考慮し、集団スポーツ種目を実施した。チームミーティングを試合前後に行わせ、所属チームの勝利のための戦略立案と実行、チームの中の個人の行動のポジティブなあり方、組織の中の個人の役割を意識した行動の実行を促した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは17名（20名中）と予想以上に多かった。受講動機は「単位数確保」の学生は37%であった。しかし「関心がある」学生は94.7%の高値を示し、非常に良い状況で授業をすることができた。目標達成できたと答えた総数は19人(19人中)で高値を示した。目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は19人、「事象理解の視点を得た」と思う学生は18名、「課題検討力」を得た学生18名、「判断力を得た」19名、「学習意欲が得られた」18名、「必要技能を得た」17名、「表現力の向上」17名、「倫理規範獲得」17名、「職業選択の参考」15名といずれも高い自己評価を持たすことができたと考える。欠席する者も多くなり全員が積極的に受講していたと考える。今後、関心度に関わる数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。目やその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達つくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。 ②D P、行動目標からみても内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1・2・3・4	前期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講生には一般教養科目としての科目の位置づけと科目概要に加え、新たに学科のAP、CP、DPについてパワーポイントおよび印刷物を用いて詳細に説明した。 ②本科目は理系科目であるため、学生には興味関心をもってもらうことを一番とした。講義では身近な生活のなかで気づく”体のしくみと異常(疾患)”に焦点をあて、事象をだしながら講義を行なう工夫を取り入れた。 ③講義はできるだけわかりやすい言葉・表現を用い説明するよう心がけた。また、講義内容が理解できているかどうかを確認するため講義途中で学生に質問をなげかける、質問を受けるなどの機会を作った。 ④昨年の課題としてあげた学習時間については、レポート作成に複数の文献を使用することを評価項目にあげ、図書・インターネット活用を積極的にするよう促した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①総合評価の平均値は68点(±11)であり、再試験対象者は3名であった。85%の学生が標準レベル(60%以上)に達しており、理想的レベル80点以上に達した学生は20%だった。 ②”知識理解”の達成度は68%で、学生の”知識理解の到達度自己評価”の平均値3.5、”知識を確認、修正、新たに得ることができた3.5”、”事象を理解する視点や考え方をえることができた3.6”であった。また、”専門分野について学びを深めたい”とする自己評価平均値が3.6であった。 ③授業の質評価は、”課題レポートの評価基準の明確さ3.9”、”質問を受け付け、答える機会がつくられていた3.7”と、課題については文書を配布し説明したこと、また、講義中に理解度を確認しながら進行させたことが良かったと思われる。 ④学習時間については、1回以上の予復習時間をもった学生が50%、2回以上が10%、4回以上が10%であった。学習時間0回と回答した学生が50%と学習量の不足が明らかになった。図書・インターネットを利用した学生は65%で、25%の学生が図書館を利用していなかった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 この科目は一般教養科目であり選択科目である。一般教養と専門領域の基礎となる知識を培う位置づけの科目で、学生も一定の成績をおさめている。学習の到達度、達成度から内容的には妥当であると考ええる。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 人文学部の学生にとり理系科目ということで苦手意識が強いと思われるが、成績評価から85%が標準レベル以上の成績をおさめている。内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考ええる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	自由意見に” 人体について気になることをいろいろ調べるようになった”と記載している学生がいる。一方、予復習に全く時間をかけてない学生が50%いる。学生間の学習の取り組みに差がでている。昨年に引き続き、学習時間の確保にむけた取り組みが課題である。グループ討議にむけ、事前学習をすることを盛り込むなど学習時間確保に向けた工夫をしたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	一般教養と基礎知識を培うという目標は一応達成できた。レポート課題をとおり図書館利用を促したため75%の学生が図書館を利用していた。次年度も引き続き図書館利用率をアップさせるよう、図書館スタッフと連携し学生に働きかけていきたい。また、学生の学習達成度に差がでているため上記に記載したように学習量を増やす取り組みが必要である。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報科学演習Ⅰ	1	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数のうち、中間試験を含む第8回までは基礎技術の習得を行い、第9回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。 個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であった。受講人数が少ないことから、そもそもパソコンの扱いが苦手な学生は履修せず、特に得意な学生だけが集まったという印象である。よって、もともと得意な学生の能力を伸ばす、という授業スタンスになったが、専門能力そのものではなく、その基盤となる技術習得を目指すという授業趣旨からは逸脱しているように感じる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。 授業アンケートの到達度自己評価では、良好な結果が得られた。 学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

図書館利用で、「インターネットのホームページを検索し、利用した」について、授業時間に全員が検索を行っているはずであるが、利用したと回答している割合は少なく、より明示的にネット資料の検索を指示したい。また、図書館を利用し、紙の文献にあたることも必要な情報収集能力と考えられるため、図書館の利用についても、明示的に指示したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。在学中の他の授業や、就職活動、就職後の実務にまで影響する内容であるため、受講率が低いことが最も問題であるが、これはシラバスを訴求性の高い内容に改善するとともに、学科レベル、教務レベルでの対応に期待したい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国の社会と文化	1・2・3・4	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①1年生から4年生までの総合人間科学の授業であるので、授業の最初に中国への理解や学習準備状況の確認アンケートを行い、不足の項目に△△を新たに加えた。 ②国際的視野に立って中国のことを幅広く学び、考えながら、異なる社会文化に触れていった。15回授業にそれぞれ異なる内容の勉強により、より深く異文化理解をしてもらった。 ③中国社会文化に関心を向上させるために、10回目にレポートを提出してもらっていた。 ④学習状況を確認するために15回目にテストを行い、学生の意欲を高めるためである。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは35名となった。 目標別にみると、知識理解に関しては学生による授業評価においては授業の課題以外に具体的に組み込んで学習はPCで調べたり、学生のそれぞれの関心問題—中国の科学・教育などに関心問題を調べたりしたことが示された。これは学生が思考判断で何が問われているかを提出されたレポートは幅広い領域に亘った豊富な内容であった。但し、授業の課題以外に学習していない理由については「なにをすればいいかわからなかった」、「特にすることがなかった」などの自己評価が示された。これは、勉強に積極的、自覚していなかったことが考えられる。次年度に向けて明確に指示・指導しなければならないと反省点が考えられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は総合人間科学の科目であるが、総合的な視点と豊かな人間性を養うための教養教育科目の位置づけ、学習者の国際的社會文化を修得して国際的な視野を広げ、多様化、多様性を複眼的に備える人間の育成の内容的には妥当であると考えられる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量評価において、授業の課題以外に学習していない理由としては、配布された資料しかなかったから、何をすればいいか分からなかった。特にすることがなかった、等が挙げられた。次年度に向けては、まず学習量・範囲をより具体的に示したうえで、学習時間・学習量・方法を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

総合人間科学にあたる本科目の位置づけから教養教育グローバル化社会に臨んでいる大学生としての教養を得ること。中国社会文化を学習すると同時に、関連する日本の社会文化などを理解してもらうこと。
以上から毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り考える時間を取ること、復習課題を意識的に提出できるように、工夫を凝らしていきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活と経済	1・2・3・4	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	経済学を学ぶ過程で得ることができる論理性に重点を置いて、講義を計画した。去年のアンケートにおいて、ゲーム理論等の部分のニーズが多かったことから、その部分を中心に講義を再構成した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	こちらが想定したよりも、理解度が低く、成績分布は悪い方に歪んでいる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	ゲーム理論という近年の経済学の中心的な内容を伝えることで、新しい知識の提供をしている。また、ゲーム理論を学ぶ過程で身につくと考える論理性により思考判断が向上される。内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義の内容が高度すぎた可能性と問題演習を少なくしたことに問題があったと思われる。できるだけ、学生の理解を深めることができるように、講義の進め方を変更したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義したゲーム理論やマッチング理論は、論理性を養うのには最適な科目だと思われる。また、これらの科目は応用範囲も広い。できるだけ、学生の興味に合うように応用して、提供できるように努力したい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学概論	1・2・3・4	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上に、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、ほとんどの学生が単位数の確保のためと回答しており、法学等に興味を抱いて履修する学生が少数であるので、今後は履修した上で法学に興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生が多かったので、上と同様に今後の課題としたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法学は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらうであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んで行きたい。また、就職活動に対する配慮や休講についての連絡等についても検討をしていきたい。また、受講生が教室の後ろに集中して座っているので、座席指定についても必要に応じて実施していきたいと考えている。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人権と社会	1・2・3・4	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①人権について、高校までの学習では「人権は大切だ」「差別はいけない」ということさえ書いておけばなんとかなるというふうに教えられてきていることが多いので、まずはそうした学びの姿勢を覆すことを第一にした。 ②また、学生は講義中は板書を写すことに専念して講義を聴いてノートをとるという習慣がないので、板書する分はあらかじめレジュメとして配り、新たな知見はそれに書き込んでもらうように指示した。 ③それらを強いるために毎回内容に対して学生自身の思考を問う課題を提示し、それを提出させるようにした。 ④また、途中二回中間テストを行い、かつこれを各自相談の上で解答させるということによって協同学習及び学習知の深化をはかった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①出席状況は余り芳しくなく途中リタイアも7名中に2名いた。しかし、途中からの励ましで、がんばって好成績を挙げた学生がいる。結果的に秀1名、A 2名、B 2名であり、個別に対応した効果はあったと言えよう。 ②そのせいか、「よかった」「人生で役に立ちそうです」という満足度の高いコメントを頂戴した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	75%と言っても5人中3人が「関心のある内容」を挙げていたのだが、例年に比して全体に学修意欲は乏しい感じがした。前述したが、学生諸君と対話を重ねる中で関心は強くなったと言える。妥当なところだろう。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全体的に少人数であったので随時改善を重ねながらやっていくことになる。また、講義の密度にばらつきがあったり、新しい課題も出てきているので、シラバスの改善を計りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

例年に比べて学修意欲に課題はあったものの、双方向性の授業を重ねることでそれなりの成果を上げることができた。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フランス語 I	1・2・3・4	前期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	志望動機によれば最も多かったものが「関心のある内容である」78.9%であり、初回授業の調査でほぼ全員がフランス語に初めて触れると回答したことから、未知の語学であるフランス語に対する興味・関心・期待の高さが伺えた。その他の志望動機は「単位数を確保する」42.1%、「友人が履修している」5.3%だった。本年度よりコミュニケーション・アプローチを念頭に置いた教科書を採用し、班活動によってフランス語を構造的な面から知的に理解することを重視した。今年度は受講者数が多く、授業中に個別対応しにくいことが予想されたため、質問や要望があれば自己評価シート（ポートフォリオ）に書き、次回授業時に全員で共有するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は70.8点(±49点)であり、再試対象は5名だった。理想的レベルの80点以上に達したのは24人中7人(S評価2人、A評価5人)であった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」に関しては全体の100%、DP5「技能・表現」は94%という結果だった。自己評価が高い一方で、成績が平均値を下回るC評価(60点台)に該当するのは24人中4人だった。満足度は高いのに評価が低い層の「知識・理解」を深めることが今後の課題である。学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは57%であった。語学は毎日の積み重ねとの自覚をさらに促したい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「総合人間科学」の「国際社会と現代」であり、総合人間科学のCP「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす科目」という観点到に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考えます。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは100%であることから、内容として妥当であると考えます。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった（平均値は3.9から4.0）。グループやペアで話し合って答えを導く協同学習を主体とし、昨年度と比べさらに会話やコミュニケーションを重視した授業計画につとめたことが高評価につながったと推測する。合間に挟んだフランスの音楽や映像視聴も好評だった。一方で、授業の課題以外に学習に取り組んだのは5%であった。身近な事柄を表現できるよう、日常的にフランス語を使ってみることが語学力向上のカギだという基本的な考え方をもっと広める必要があると感じた。来年度はより効果的な教科書の選定を行い、自習に効果的な参考書やサイト、フランス語検定、フランスに関する図書の紹介に努めたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	総合人間科学のCPに合致する協同学習の結果、高い自己評価が得られ、一定の成績を残すことができた。受講者数38人という、語学のクラスとしてはやや多い人数ではあったが、協同学習によって個々がさまざまなエクササイズに主体的に取り組めた。今後も教員が一方的に「教える」のではなく、学生同士で「学び合う」授業スタイルを徹底させていくことが望ましい。また志望動機の調査で表れた「関心の高さ」を、半期を通して、その先もいかに持続させていくかにも留意したい。そのために、フランス語を「遠い言語」とせず、授業外でもっとフランス語に親しめるよう、魅力的なコンテンツを利用させるなど、教科書だけにとどまらない学習方法を提示していきたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	1・2・3・4	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	○第二外国語として初級レベルの韓国語力をつけることを目標としている。最初の講義で行ったアンケートで（学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施）「新しい言語に触れてみたい」や「今後の仕事に生かせそうだから」、「韓国旅行の際便利そう」などの積極性が見られる受講動機がある中「単位が欲しいから」「友達が履修するから」との返答もあるなど、学生間の温度差があることが分かった。 ○受講姿勢に差がある50を超える受講生全員（英語学科との合同授業）が興味と持つように“楽しい”授業を目指した。学生が興味を持ちそうな韓国事情や毎年好評のK-popなどを授業に取り入れ最後の授業まで韓国語への興味が持続するように動めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績平均は76.76で理想的レベルに近づけることができた。また全員落第することはなかった（再試験の結果を含む）。 授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。 中でも「知識を新たに得ることができた」の評価が最も高いことに注目したい。韓国語をこの講義で初めて習う学生が大半だが、その多くが当初期待した目標を達成したことが分かる。他にも「専門分野において学びを深めたいと意欲をもつことができた」や「専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の設問で高い満足度が見られるが、これは韓国語学習で応用の幅が広がり、今後の進路に貢献できる授業であったことと言えよう。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように、第二外国語として目標とていた成果を挙げられたので内容的に妥当性があると考えられる。 DP 授業中学生達から受けた印象はもちろんのこと、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。 まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初級の語学という授業の特徴上、学生が意見を述べたり、図書館を利用しリサーチする機会が少ない。代わりに基礎的な会話の場面を増やし講義を聞くだけではなく韓国語でコミュニケーションを取れる機会を作った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。そして語学以外に「韓国」そのものに興味を持つ学生が増えて、狙って以上の成果を挙げられた。来年度も引き続き学生と関連のある韓国の話題を取り入れながらよい成果を挙げたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語Ⅰ	1・2	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。初心者にとって外国語は難しい、とくに発音の難しい中国語は、挫折しやすい。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者により学習習慣を身に付けさせ、楽しく学ばせることである。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」が95.2%であり、よいスタートであったと感じた。授業ではちょっとハードな発音練習のあと、中国の文化や風習、考え方、最新事情なども紹介したりして、学習者のモチベーションを高め、さらに関心を引き付けるようにしている。 ②開講時に4段階の学習目標や、学習方法を明示し、「学習状況記録表」を作り、学習者に配布し、学習効果を常に確認できるようにした。 ③各課に漢字テスト、暗記テスト、コミュニケーションを行い、学習者に「わかった、できた、つながった」の学習喜びを感じさせ、間違ったところをしっかりと復習しようという意識を高めるようにした。 ④各課学習したあと、「マイ・コミュニケーション中国語」のリストを作成させ、モチベーションを高めるようにし、次のステップへ進む準備をさせた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は87点であり、標準的なレベルに達し、理想的レベルまであと少しであると言える。 学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.6で、中央値は5.0であり、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.2で、中央値は4.0であった。2つの項目に差があったということは知識は概ね理解しているが、表現することはまだ難しいと考える。コミュニケーション力や表現力をより効果的にアップさせる方法についてさらに検討したい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容の妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目ー中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」の基礎となる重要な位置にある。この段階で学生により学習習慣を付けさせ、中国語の基礎知識をしっかりと把握させ、分かる、できる、通じるという喜びを感じさせ、中国語大好き人間にさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生も優秀な成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。 ②DP、行動目標からみた内容の妥当性 「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目の平均値は4.5、中央値は5.0であり、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の2項目の平均値と中央値が共に4.0であることから、内容的には妥当であったと考える。 ③自由記述の意見 自由記述から、「とてもわかりやすく、丁寧に教えて頂けて、理解が深まっていき、楽しい授業でした。中国語が好きになりました」、「中国語の豆知識を知ることができ、発音からしっかりとわかりやすく教えていただいたので良かった！」などがあった。これらの記述からみて、内容的には妥当であったと考える。 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学習者の学習状況を常に確認し、無理のないように授業を進めていた。 学生から「生徒一人一人をきちんと見ていることが分かる。すごく優しくて授業もわかりやすいです」、「篠原先生の授業は非常に理解しやすく、毎週月曜日の1限を楽しみにしていました。また先生の授業をうけたいです」などの感想があった。 また、「中国の文化など話を聞きたいです」という意見があった。中国語の基礎学習をしっかりできた上で中国文化などの話を増やしていきたいと考えている。 今年度は家庭学習の方法についての紹介を行った。学生たちは授業の課題以外に以下の学習を実際に取り組んだ。①発音の練習など、②中国語の本を読んだ、③中国語のCDを聞く、④中国語の文を少し読んでみた、⑤日本で放送されている中国語のテレビ番組を見た。⑥暗記。⑦NHK学習。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「総合人間科学」の一科目として、それから「専門教育科目ー中国語通訳ガイド演習及び観光中国語」を受講するに必要な予備知識としての本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。 昨年に比べて期末テストの平均点数が上がった点は評価できる。 来年度に向けての課題は、来年度の学習者の心理や好みをできるだけ多く把握し、学習者に合った教授法を研究することである。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス英語	2・3・4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①教科書はビジネスシーンにおける会話を中心としたものを選択し、職場で頻用される言い回しを会得することを目的にした。授業中に学生はペアで会話練習を行い、その後、確認の小テストを行った。②教科書の練習問題はTOEIC形式になっており、資格試験にも対応できるようにした。③ビジネスレターの形式を習得し、特に英文Eメールの和訳やビジネスレター特有の言い回しなどを学習できるように練習問題を行った。④DVDを使用し、実際のビジネスシーンを再現し、クエスチョンタイムで学生自身で英会話の応答の台詞を考えさせた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は96点であり、再試対象者は0名であった。全員が標準的レベル以上に達したと思われる。講義内容に関しては、DPの「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」を高く評価している学生が多く、全員4年生であったことで、ビジネスシーンにおける英語活用に興味と関心が高かったためと思われる。また就職活動を行いながら受講する学生が大半であった為、学習への影響を最小限に抑えられるように、既習内容の復習に力を入れたことが、高評価となったと考えられる。到達度自己評価に関しては相対的に評価値が高く、学習内容と学生の満足度が一致した結果と思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPマップ上の位置づけからみての内容的妥当性： CPマップ上の位置づけからみての内容として、ビジネス英語をスピーキング、リーディング、ライティング、リスニングの各方面から取り組み、有用性の高い単語や表現を習得することから、ビジネスの専門科目の体系的学習を可能にしていると考えられる。従って、内容的に妥当性があると考えられる。②DP、行動目標からみての内容的妥当性： スピーキング・アクティビティ中心にビジネス英語におけるコミュニケーションスキルを習得し、英文ビジネスレター、メールの作成などを本科目の目的とした。特に学生が確実に習得できるように授業中に数種類の小テストを行い、確認を促した。その結果、授業の質評価の平均値は高く、学生にとっても納得できる授業内容とレベルであったと考えられる。以上のことから内容的妥当性には問題がないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価： 各項目とも約7割の学生が高い評価を示していた。これは授業中に行ったスピーキング、ライティング等の学習内容をその場で確実に習得する作業に取り組んだ結果と思われる。②学習量の評価： 就職活動を行いながらも、予習復習を行っている学生が多かった。実用性の高い内容を取り上げたことで学生の学習意欲を刺激した結果と思われる。」③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスを参考にした学生は約8割弱に上り、本科目の情報を事前に得ていたが、図書館利用者は0名であった。就職活動を行っていたため、時間的な余裕がなかったと考えられるが、ビジネスの領域において幅広い理解と知識を身につけるという観点からすると問題があったと考えられる。情報利用の必要性を学生に指導する必要性を強く感じた。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	教科書の内容を確実に身に付けるために、難易度は中程度のものを採用した。またJ受講生全員が就職活動で忙しい4年生であったため、基本的に課題は出さずに、授業内での学習に重点を置いた。そのため予習復習や図書館利用など自己学習の機会が少なかった。就職活動を行う4年生の授業への取り組み方法は検討の必要性があると考えている。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理	2・3・4	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」70%、「関心のある内容である」40%となっております。学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては86%、意欲関心に関する問題は86%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、6%、13%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度が高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が66%であった。次年度に向けては、学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日中文化交流論	3・4	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」80%、「関心のある内容である」26.7%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては93%、意欲関心に関する問題は87%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、25%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「日中文化交流論」であるが、「アジア観光文化交流論」と共同開講となっており、インバウンド観光を勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が93%であった。次年度でも、学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「日中文化交流論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光中国語	3・4	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」50%、「関心のある内容である」16.7%、となっております。学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③授業中に会話と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は7.5点であり、再試対象は0名であった。全員が予定のレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、意欲関心に関しては91%、技能表現、態度に関しては、100%であり、それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれは25%となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光中国語」であるが、中国への海外研修・留学をつなぐ要の位置にあり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価をはじめ、各項目については、評価が良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

中国への海外研修・留学をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「関心のある内容である」50%、「単位数を確保する」50%となっております。履修者が「中国語通訳ガイド演習Ⅲ」では、今まで取得した中国語を活かしてもっと勉強したいという気持ちが分かる。学生のその気持ちを大事にして、良い授業になるように工夫したいと思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③授業中に翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、意欲関心、技能表現、態度に関しては、90%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、83%以上で、後者は100%となっているが、図書館やインターネットの利用については、これからも指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、技術表現、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「中国語通訳ガイド演習Ⅲ」であるが、「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあり。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は中国語通訳ガイドの基礎知識を学習するものである。通訳ガイドにおいて、最も重要なのは正確に言葉の「心」を訳すことであると考えている。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者に聞く・話す・読む・書く・翻訳する能力をアップさせ、中国と日本の文化、習慣、考え方などの違いを理解してもらい、正しく言葉の心を訳す練習であった。 ②開講時に学生の学習準備性を確認し、中国語の発音、基礎文法などの復習を行った。 ③通訳ガイドは「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、「翻訳する」の5つの能力を必要とする総合技能であるため、授業の実施にあたり、それぞれバランスよく向上できるように工夫した。 ④定期的に演習発表をさせ、学習状況を確認し、学習への意識を高めるようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された	達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的なレベル(おおむね90点以上として試験を作成)に達した学生は4名であった。 学生による到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」の項目は平均値が4.2で、中央値は4.5であり、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.2で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値、中央値は共に4.0であった。 今年度はグループワークを取り入り、学習者は互いに協力し、インターネットなどを活用しながら学習し、学習成果を上げることができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は、観光文化学科の「専門教育科目」の基礎となる重要な位置にある。受講者は将来「中国語通訳ガイド」の仕事に就きたい学生ばかりではない、受講動機は「単位数を確保する」などもあり、動機付けに苦慮する面もあった。この課題に応えるように学習者が興味を持って取り組み題材を提供するなどの工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講者の学習状態を常に確認し、無理のないように授業を進めていた。

「学習量の評価」に関して、授業の課題以外にインターネットを活用し学習に取り組んでいたのも、熱心に学習していた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「専門教育科目」の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。

今後に向けての課題は、中国人ツーリストのニーズは変わりつつある、学生に観光案内、緊急事態の対処方法などの基礎知識を身に付けさせることは大変重要であるが、しかし、それだけでは不十分で、これからは色々なニーズに対応できるような中国語通訳ガイド人材を育成する必要がある。すでに普及したスマホを取り入れた教授法を研究したい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	前期	必修	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is divided into two sections which focus on basic skills and communication based learning. The textbook for the communication component of the course was "iTalk" (Cambridge). Weekly lessons provided meaningful practice of both listening and speaking skills through a variety of interesting topics. The short focused lessons allowed students to practice asking and answering common questions, organizing information, and producing original conversations for role play practice and presentations.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Assessment was based on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Through active participation, students helped to create a very positive and encouraging learning environment. Students were also encouraged to expand on their language skills through dialogue manipulation, role plays and supplementary exercises. Overall, students challenged their abilities and strove for a higher level of language acquisition and production.
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include better instruction on note taking, lesson review, and vocabulary building exercises. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often fell short during the brief lesson review at the beginning of each class.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

More detailed instruction on how to use class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	前期	必修	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is separated into two sections: Skills and Communication. For this class, I taught "Skills". We used the textbook "Four Corners 1" (Cambridge), which guides students through a series of practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on 5 criteria (passive participation 30%, active participation 33%, homework 17%, and a final test 20%). The majority of students received a grade in the 85-95 range.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Students were generally enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with most students taking advantage of the opportunity to learn.
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include improving integration of supplementary materials into the current curriculum and increasing opportunities for kinesthetic learning (space permitting). Adding pages to the workbook to match the number of lessons in the term is highly recommended for all Skills courses.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

Streamlining and improving the use of class workbooks to promote note taking and completion of homework will improve the accuracy of individual assessment and keep students focused on class objectives.

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Kenneth Maynard Gibson, Jr.

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	前期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	Students' lesson preparation is poor. Many just copy the homework from other students just before class. I don't think they are serious about learning English.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない					どちらともいえない
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Most don't really care about actually learning English unless it can be done very very easily. Of course that isn't really possible. They need to study out of class too and they were not really willing to do that. DP 3 and 4 were OK, but 1 and 5 were not good.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	In class the students were forced to work hard, but out of class study is needed for improvement. They didn't study out of class. DP 3 and 4 were OK, but 1 and 5 were not good.
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

I do not set the goal for the courses. I am a part time teacher and all curriculum and course goals are set by the school's full time staff.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

I don't understand this question...

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Andrew Anthony Joseph Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	前期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is divided into two sections: Skills and Communication. For my classes, I taught "Communication". We used the textbook "iTalk" (MacMillan Language House) which offers students many chances to communicate using English in fairly authentic situations. During each lesson, students had ample opportunities to create conversations, question and answer each other, practice listening, and perform presentations.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students did well in all assessment areas (attendance, classwork, presentations, and the final test). There was a lot of energy in the class.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	In this class, the students worked hard and showed a strong attitude towards learning. For DP5, although we focused a lot on building their basic skills, particularly in vocabulary, many students did not make significant gains. The main reason for this was probably that they started with extremely weak skills in all areas, so have many hurdles to cross.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

It is important to continue to build on the students' skill set and encourage them to use the skills they have already learned in communicative manner.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

As with most communicative courses the largest hurdle is keeping the students in the target language. Closed exercises tended to increase target language use, while open exercises tended to lead to a deterioration in target language use as time was extended for the activity

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	多読の授業なので、しっかり多読を促し、レベル2以上の本を購読するように促した。毎週感想を英語で書いてもらい、提出させ、英作文のアップも狙った。300選のディクテーションは、最初大変そうだったが、だんだん勉強方法が分かってしっかり勉強してもらえたと思う。さらに予習をしっかりと調べたので、学修準備の量が多く、「忙しかった」「課題が多かった」の意見があり、「予習した」「小テストの勉強」の取組みがみられた。英語の知識だけでなく、日本の歴史や観光資源にも触れることが出来て良かったと思う。ハイスピードで進んだけれども、皆さんよくついてきてくれた。負荷がかかった授業だったが、しっかりついてきてくれた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	ディクテーションのテストは、1回10点満点、10回行った。その合計を5で割って20点満点にした。学生の平均は13点と低いが、範囲が広く、厳密に採点したので、一人一人の努力がうかがわれるまずまずの成績と考えられる。多読は全員10回出したので、20点の加点があり、11回目を出した人には1点プラスした。ディクテーション20点、予習点8点、多読20点、復習テスト52点とし、100点満点としたが、平均が85.5点と非常に高く、一定の成果が見られた。意識して負荷を大きくかけたが、学生の意見は、「大変でしたが楽しい授業だった」、「大変だったけど頑張りました」とあったので、いい方に向かって良かった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	必須だが、モチベーションは高く、真面目で頑張る学生が多く、課題を与えるとどんどん伸びていくのがよく分かる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、肅々とシラバス通りに進めたが、「楽しい授業」だった、と言われて、ホッとしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

達成状況はいいし、個々の学生は鍛えるとどんどん伸びるので、上手に負荷をかけて行きたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	薬師寺 元子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Intensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業の実施にあたり大切にしていることは、昨年同様、積極的、且つ、能動的な学習態度を軸と致しました。①まず出席とレポートの提出が肝要であると強調致しました。②次に予習、復習を必須とし、特に予習に重点を置くように勧めました。③さらに、予習復習を徹底するためにノートを作り、その使い方を詳細に説明致しました。まず教科書の英文をノートに写し、和訳をし、新出単語を調べてくる。これは、ほぼ全員の学生が実行致しました。『授業以外に具体的に取り組んだ学習』の自由記述に、「高校の参考書を見返した」、「多読をプリントに記録した」、「英文をノートに写した」とありました。少々難易度の高いテキストを使用致しましたので、実際は、大変時間が掛かる予習だったと推測致しますが、皆一生懸命準備を致しました。『授業の課題以外に学習に取り組んでない理由』に「課題だけで手一杯だった」、「課題が多かったから」とありました。語学の学習は、繰り返しと忍耐力も必須ですので、沢山課題を出しました。④英語の Reading の授業ですので、授業に入る前に、自宅学習と致しまして次の範囲を4回以上音読することを義務付けました。しかし、昨年同様、これは、あまり、実行されていなかったと推測致します。『受講動機』は、必修科目ですので、全員真剣に取り組んだと判断いたします。学生の『自由記述意見』としまして、「本文をノートに写した」、「高校の参考書を見返し、単語を覚える」、「小テストの勉強」等が挙げられておりました。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①全員が、標準的レベル以上に達し、最終的な成績の平均値は1000点満点中のbクラス(76点)、cクラス(85.6点)、dクラス(89.2点)であり、再試対象者は0名でした。80点以上で、理想的なレベルに達したのは、37人名中27名でした。「多読のレポート」提出に関しましては、全員が目標の10回分以上に達しました。総計が1000ページを越した学生が4名で、2105ページもの英文を読破致しました学生がおりました。従いまして、図書館の利用は十分になされたと判断致します。②「日本の事象について英語で説明できる」に関しまして、テキスト暗記用の小テストを9回実施致しました。準備が十分な学生と不十分な学生の個人差がかなりありました。小テストの様式は穴埋め問題ですので、難易度は、標準的なものを作成いたしました。テキストの『日本の事象英文説明』をもう少し時間をかけて重層的に幅広く説明できれば、もっと、理解が深まるのではないかと判断致しますが、時間が限られておりますので、簡単に致しました。『学生の到達度自己評価』につきまして肯定的な解答は、(1)自分なりの目標を達成した94.2%。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た(97.1%)。(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た(97.1%)。(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た(約94.1%)。(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た(94.1%)。以上のように学生の学習に対する到達度自己評価は、かなり高い。(10)職業選択の参考になった、という点でも、肯定的な解答が91.4%という結果となっております。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①<CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見た内容的妥当性について> 本科目は人文学部観光学科の必修科目であります。昨今、グローバル化が進み、英語の発話力が問われてきました。しかしコンピューター時代に突入したため、それ以上に、正確な英語の読解力が求められます。精読により、語彙力、文法力を徹底的に修得することが肝要でありますので、中心的必須科目の位置にあるといえます。学生の本科目に対する到達度自己評価に、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」等に関するものが、9割以上を占めていますので、本科目の内容的妥当性を確信致します。 ②<DP、行動目標から見ての内容的妥当性について> 学生が達せきすべき行動目標は、1. 長文の読解が出来る。2. 日本の事象について英語で説明できる。3. 習慣として英文を読むことが出来る。以上3つも事項が挙げられています。「長文の読解が出来る」につきましては、世界遺産を中心にした教科書により、知識を広めながら、英文を確実に精読致しました。これにより、語彙力、文法力を強化できたと考えます。次に「日本の事象について英語で説明できる」に於きましては、決められた範囲を理解し、音読し、暗唱し毎時間小テストを実施致しましたが、平均点に個人差がありました。最後に「習慣として英文を読むことが出来る」ですが、これも英語の原書の童話等の多読により、毎週、ストーリーの粗筋、読後感想の提出義務により、かなり、実践できたのではないかと確信いたします。 ③<まとめ> 以上から、内容妥当性には全く問題はないと判断致します。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価につきまして、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」では、「まあまあ思う」と「わりに思う」と「かなり思う」を合わせると、100%であった。「期間内に行うべき課題は明らかであった」では、100%であった。「説明は理解しやすいものであった」では、97.1%であった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」では、94.2%であった。以上総合いたしますと、ほとんどが、進め方につきまして、好意的でございましたが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に関しましては、「少しそうでないと思う」が2名いましたので、全員が満足するような解答になりますように、「アンケート用紙」を活用し、次回も工夫を凝らす所存でございます。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	本科目に対する学生からの「担当教員への意見」と致しまして、学生のコメントは、「説明が解り易く授業もとても楽しかった」、「内容的に難しかったが、一つずつ丁寧に教えて頂けたので解り易かった」、「とても楽しく面白い授業でした」。以上のような学生からのコメントは、今後の私自身の、授業に対する励みになっております。本科目は、「英語の精読」、「多読」、「日本の事象を学ぶ」という3つの要素からなる幅広い教科でございます。その分、毎回の授業の準備に、資料集めや、プリントの準備、教科書の予習、復習など大変多忙な教科でございます。一応標準的レベルである「辞書を使って長文の読解が出来る」、「月3冊の英文の本を読むことが出来る」は、達成できたと判断致しますが、「授業で学んだ日本の事象について英語で説明できる」点に於きましては、まだ、完全とまではいきませんが、日本事象を英語で説明できる段階に達成しつつある学生が、少数ですが出て参りました。今後は「アンケート」で学生の意見を取り入れたり、「学生一人一人と直接コミュニケーション」をしっかりと図りながら、勉強に対するモチベーションを上げていきたいと存じます。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 真由実

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	e-learningを使つての授業ということで、学生が主体となって学習できるように、まず開講時にchieruの中のTOEICミニテストを利用してスコアを確認してもらい、閉講時にも同様の試験を受験することで、スコアの伸び具合を確認した。パソコンに向かっての学習だけでなく、手を動かす作業が必要な課題を毎週出し、それに沿った小テストを行うことで、学習に対する意識を高めると同時に、学習状況が確認できるようにした。発音に関しては、DVDを使って口の形、舌の位置などを確認し、実際に声に出して練習することで体で覚えてもらうよう努めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Chieruを使つての学習は、授業中はほとんどの学生が良く取り組むことができていたが、時間外の課題では、不十分な学生も見られた。期末テストで出題したディクテーションは、ほとんどの学生が及第点であったが、小テストでは不十分な学生も見られた。発音に関しては、完全にネイティブのような発音ができるようになったというわけにはいかないが、音読のテストでは改善が見られた。発音に対する意識が高まった、あるいは会話に自信がついたとのコメントがあったことからそれが裏付けられている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	必須科目（英語）で、主にリスニング、発音を中心に学習したが、DP-1の基礎学力はついてきている。DP-5の外国語でのコミュニケーションについても、その基礎となる学習が可能であったと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習した発音をきちんと身に付けられるように、教室の中でのアクティビティをもっと増やしていく。また、ナチュラルスピードで話される英語をよりよく聞きとれるようになるためのディクテーション等の練習量を増やしていく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

毎週出される課題も多かったにもかかわらず、多くの学生が頑張っており、期末テストではほぼ及第点をとれていた。評価が悪かったのは、欠席が多い、また、課題、小テスト・期末テストに対する準備が不十分な学生であった。受け身的にe-learningをこなしていくのではなく、授業内外を問わず、全員がより主体的に学習に取り組めるような雰囲気づくりを行っていくことが今後の課題であるとする。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Extensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①マルチメディア教室の特性を生かして、一方的な講義型の部分を減らして、学生に英語に触れる時間をできる限り増やすようにしている。②学生の学習準備性については、受講動機が「必修科目である」ことを除いては、③関心のある科目であるが、8.7%となっている。一年前期の英語の必修科目としては、高い方に位置する。これは、授業評価アンケートの11人分(前期、英語、必修科目)との比較から言える。これは、パソコン、ネットで英語という形態の珍しさがあるのかもしれない。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①教育目標の中で、DP1と5の達成については、英語の接触時間(教えられる時間+自分で学ぶ時間)の増加で推し量られる。シラバスには、E-learning(CH1eru)で蓄積できる学習マイルを、2,500以上を単位履修条件としている。それが、学年平均では、5.697であり、十分な練習量を担保している。 ②科目の共通テキストに基づく小テストを毎回課した。これは初回授業で15回授業の出題範囲を配布しており、学生は準備ができるようになっているはずである。これについては、授業の質評価の「(2)期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」は、平均点4.1であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①一年前期の英語の必修科目であり、他の必修の英語授業が、英文法、英作文、精読、英会話というような領域限定の性格を持つのに対して、この授業は、speakingを除いては、残りの英語の三領域 (reading, writing, listening)を取り込むものであり、DPを達成しやすい科目である。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①改善課題は、この授業が I T 関係の知識やタイピングの技能についても触れることになってしまっていることである。情報関係の科目が専門科目に なく、総合人間科学にだけ複数あり、それらがすべて選択科目である。しかも履修登録率が低いということがある。そのような中で、当科目を成立さ せるためには、情報関係の科目内容の一部を含みこまざるを得ない。2018年度新カリでは、この点は改善される見込みがあるが、2017年度にはどのよ うな改善策がありうるのかを検討したい。学習量の評価は、授業評価アンケートでは、「(4) 授業の課題以外に学習に取り組みましたか」が、24名 中18名はしていないとある。また、自由記述では、「課題だけで手一杯だったから」「課題で十分とおもったから」とあるように、課題だけでも十分 であるように予定を組んでいる。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	①P CでのW e b 利用による、E-learning である。ところが、学生のネット利用は、スマホにシフトしてしまっている。次年度はスマホ利用が可能 であれば、さらに学習の機会が増えることになる。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition I	1	前期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は必修科目であり、受講動機においても全員がそのことを認識したうえで履修していた。内容的には、中高で学んだ英文法および英作文の復習を総括的に行うのが主たる目的であるが、受講生の習熟度レベルが高かったことを考慮して、従来の英文法とは異なるアプローチとして、単語のつ色合い（ニュアンス）や文法的に正しい英文であっても、意味的に自然・不自然なケースが生じるなど、具体的な英文を例示し、学生が抱く英文法に対するネガティブなイメージを払拭する試みも導入した。受講生の学習姿勢や態度は非常に良好であった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な全体の成績平均値は85.8点で、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、中には100点オーバーの得点を獲得した受講生も数名いた。平素の授業において発表するなどの授業貢献度においては、平均スコアが20点満点を超過し22.4点であった。毎回全員が指名以外の形で自ら挙手を行い、積極的に授業に参加していた。1名の学生が挙手することに対して、若干抵抗があるようだったが、この点も改善され、コメントとして「最初は嫌だった発表も今では自ら手を上げることができるようになった。少し克服できたと思う」と明記されていた。他の学生から刺激を受けて、積極的な学習姿勢に転じたことの証左であると理解している。小テストに関しては、他の科目と異なり、毎回単語テストを実施したが、30点の配当で平均値は21.8点であった。非常に良好な結果を得ることができたことに安堵している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目が必修科目であることから、ほぼ全員が与えられた課題をこなした。到達度自己評価においても、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術をみにつけることができた、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた、などの質問項目に対して、全員が「そうだと思う」を選択回答していることから、内容的妥当性には問題はないと考える。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、すべての項目において、全員が「そうだと思う」を選択していた。特に(3)説明は理解しやすいものであった、(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、などの質問には全員が「そうだと思う」の項目を選択していた。しかしながら学生の自由記述で書かれていたように、中には発表することに対して、クラスの規模に関係なく、消極的もしくは萎縮してしまう学生がいるのも事実である。本人の性格的な面も影響していることも考えられるので、無用なプレッシャーをかけることなく、別の選択肢（今回のケースでは、小テストなどの筆記試験で貢献するという方法）を例示することで、学習意欲の維持向上を支援していきたいと考えている。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	今回担当したクラスは、習熟度の高いクラスであったので、全体的な達成状況についてはおおむね評価できると考えている。しかしながら、今後は習熟度の高くないクラスを担当する可能性もある。英文法は英語の苦手な学生にとっては、特にアレルギー反応が出やすい分野である。今後の課題として、文法に対するマイナスイメージを払拭するための取り組みを検討したい。具体的には、実際のコミュニケーションの場面で文法がどのように活かされているのか、どのような事項を優先的に理解しておく必要があるのか、などについてできるだけ数多くの具体例（英文や用例）を言及・提示することで、学生自らが文法の必要性や文法に対する興味・関心を抱き、主体的に学習を継続していけるような環境整備を整えていきたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition I	1	前期	必修	はい	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学習準備性向上のため、毎回の授業で単語のテストを行った。テスト勉強のため授業開始時には学習への姿勢が整っていたことは大きな成果であると思われる。学生のコメントは「今までの英語の授業で一番楽しかった。」「この授業が一番好き。」「たくさんの知識を得られた。」というものが多かったが、これは単語や文法の解説の際に、学生が興味を持てるような映画の台詞等を使い解説をしたことをさしているものと考えられる。つまらなくなりがちな文法を楽しく学習するためには、例文等の選び方が鍵となるため今後も学生の興味関心を考慮した教材選び等を心掛けたい。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回の単語テストの成績を30%加味したため、単語テストで点を取らない学生にとっては不利になる部分が出てきたようであるが、その他の学生はすべて単位を取得することができた。到達度自己評価で高かったものは「知識を確認修正したり、新たに得ることができた」という項目で平均値は4.7であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	技能表現の向上を目指す科目であることを考慮すると、新しい知識を得られたと学生が評価していること、「表現力を高めることができた」という項目の平均値も4.4であることなどから内容は妥当性があるものと考えられる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

面白い、楽しいという評価が多いので、できる限り学生が英語の学習を苦痛に感じないよう、今後も「英語を楽しむことができる授業」を展開したいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

入学時の達成度に差がある学生がいるため、とにかく今まででつまづいているところを拾い出し、全員が足並みをそろえて授業に取り組めるよう補強していく必要性を感じる。1回目の授業で単語以外にも達成度がわかるテストをし、理解できていないところを授業の中でしっかり理解できる余剰にすることが望ましいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition I	1	前期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	単語のテストは、1回5点満点、10回行った。その合計を2で割って25点満点にした。学生の平均は17点とまあまあの成績である。満点を取るように負荷をかけたので、まあまあ成功したと考えられる。多読は全員10回出したので、20点の加点があり、11回目を出した人には1点プラスした。単語25点、多読20点、復習テスト55点とし、100点満点としたが、平均が90点と非常に高く、一定の成果が見られた。負荷が大きかったが、学生の意見は、「楽しい授業」だったとあったので、あまり苦痛を感じていないことが良かった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成した					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Toeic単語のテストは、1回10点満点、10回行った。その合計を4で割って25点満点にした。学生の平均は19.7点とまあまあの成績である。満点を取るように負荷をかけたので、かなり成功したと考えられる。文法とコンポジションは、丁寧に説明することに気を付けた。単語25点、復習テスト75点とし、100点満点としたが、平均が90点と非常に高く、一定の成果が見られた。負荷が大きかったが、学生の意見は、「楽しい授業」だったとあったので、あまり苦痛を感じていないことが良かった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	必須なので、モチベーションは低いようだが、真面目で頑張る学生が多く、課題を与えるとどんどん伸びていくのがよく分かる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、楽しく明るい学生が多かった。「楽しい授業」だったと思われたのは、ありがたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

達成状況はいいので、学生は鍛えると、どんどん伸びるので、上手に負荷をかけて行きたい。予習については説明不足などところがあり、学生を悩ませたようで申し訳なかった。でもしっかり予習をして、何とかついてきてくれてうれしい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は基礎的なドイツ語を学びつつ、日独の（主として日常生活にかかる）文化について比較考察することに重きを置いた。本学科はドイツ語科目がない中で、ドイツ語も学びつつということで受講生の負担もそれなりにあったのではないかと考えるが、一方で、欧州、あるいは広く欧米圏の中心的存在であるドイツの文化について学び、日本と比較することは若い受講生達にとって非常に知的好奇心を満たすものであり、履修人数こそそれほど多くはないものの、受講者にとって有意な内容とすることができた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	上記の3で示したように、授業内容的にはやや高度なものであったが、それにもかかわらず、受講生たちは全員が出席やレポート等、全般に渡って意欲的に取り組んでくれた。その結果、単位修得率では100%を達成した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	上記3、4で示したように、受講生の意欲関心は非常に高く、内容の高度さと照らし合わせても納得のいく充実した講義とすることができた。この点を次年度以降にも繋げて、全般的にさらによくなるよう発展させていきたい。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	講義全15回のうち、前半はドイツ語の単語や文法の小テストを毎回行なった。後半は数回に1度、A4用紙2枚程度のレポートを課した。いずれも、点数的に高く、特に心配はしていなかったが、期末試験の成績もやはりしっかりとした結果を出してくれた。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	特に気になる点はなく、和気藹々とした中で、しかし、内容的には難易度の高い授業を展開したが、受講生もメリハリを持って受講してくれた。自宅学習もしっかり行っていたことが類推できる。次年度以降もこのようにしっかりとした講義を展開していきたいと考える。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	52

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「必修科目である」87.5%、「単位数を確保する」16.6%、「関心のある内容である」18.7%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したいかもくなるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート提出）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は91点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解と思考判断に関してはそれぞれ98%、意欲関心に関する問題は100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、8%、6%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が82%と他項目の評価よりちょっと低かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①一年生を対象とする授業で、全員が中国語初めての学習なので、中国語の特徴と学習方法を説明する。中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の言葉話し方、習慣の表現などの特徴を理解し、基本応用能力を身に付けます。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国事情を適宜に紹介する。 ②学生の学習への意識を高め、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行う。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは27名となった。 学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得るところができた観点での自己評価にかなりそうだと思う」と「新しい知識を身に付けたと考えられる」。「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意識をもつことができた」。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においてはそれぞれ30名と高かった技能表現に達している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性。 本科目は「専門教育科目」であるが、「専門基礎科目」と「専門基幹科目」をつなぐ要の位置にある。内容的には妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性。 異文化、多言語の領域の成績は上昇したことからも内容的には妥当であったと考える。 ③まとめ 以上からの内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、 「テスト、レポート、提出物など評価基準は明らかであった」 「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」 「説明は理解しやすいものであった」 「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生参加する機会が作られていた」 「口頭。文書などで学生の質問を受け付け、答える機会が作られていた」については高く示されていた。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	専門応用科目の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形式については概ね達成できたが、コミュニケーション能力の面で課題を残した。この点は「専門基幹科目」で結びつき、引き続きで指導する予定である。 学生に中国語で日記を書いてもらっているが、来年度により綿密に実施することを行いたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	西岡 和子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習 A	1・2・3	前期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①将来ビジネスで使える英語力として、TOEIC500 点を目指す基礎固めをめざした。②資格試験の受験スキル向上に止まらず、具体的にある程度の内容のある英語を読み、聞き、理解できる基礎作りを目指した。③様々な話題の英語の基礎的な資料を目から、耳から理解できるスピードを上げることを目標とした。④英語を目や耳から受信して、日本語を介在させずに理解する習慣をつけるために英文和訳は可能な限り排除して、辞書も英英辞典を使用するよう指導した。⑤目にした英文は必ず音読できるように発音練習にも重点をおいた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達しなかったものは6名であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラム上、中国語や韓国語の学修に重点を置く学生も多く、また履修動機において科目内容に関心があるためと答えた学生が77%と約四分の一の履修生は英語学習自体やTOEICの高得点を目指すことにあまり関心がないことから、内容が多岐にわたるTOEIC演習は学生にとっても負担が大きいと感じられた。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

担当初年度ということもあり、授業で教科書を網羅的に学習して計画通り進めることができない面もあった。学生の特性を理解した後に問題の取捨選択をすることが必要であると思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

英語の基礎力と学習動機の異なる学生を対象に、7つの異なるパートから成るTOEICテストのいわば受験ストラテジーを伝授する段階にまで達することは困難であった。一年次の前期科目ではTOEICの構成内容を概観することを目標とし、後期科目から2年次3年次と計画的に各パートへの対策能力を高めること必要であると考え。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松笠 裕之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	前期	必修	はい	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業においては、事前学習よりも講義時間内での完全理解と事後学習にポイントを置いているため、実社会での事例を説明することで理解を深めていくというスタイルで進めている。さらに事後学習ではアルバイトや生活の様々な場面で自分自身の状況判断で態度で実践していくことを目標にしている。毎回の授業では、授業のポイントとコメント、疑問などを書かせて完結するように工夫している。さらに、期末テストで一夜漬けで覚えることがないように中間テストを実施している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業への出席状況並びに毎回のリアクションペーパーと中間テスト、最終テストの計2回の筆記試験を基に成績評価を行った。結果S評価16%、A評価45%、B評価18%、C評価6%、D評価4%でS評価とA評価で60%を超えており、学生自身の事後学習並びに授業中における集中の結果であると思われる。また、評価アンケートでは、授業の内容をアルバイトの場で実践したと書かれており、本授業では社会で応用できるところまでを目標としていた点においてはホスピタリティを知識として理解し、それを自身で思考判断することで実社会において実践できたことは目標を達成できたと考ええる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、CP、カリキュラムマップとの妥当性については、必修科目であることを考慮し、すべてのサービス活動なら日々に生活活動において重要となるホスピタリティを十分に知識として理解し、さらにその場の状況を判断したうえで実践していく内容については妥当と考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	毎回の授業でリアクションペーパーを学生に書かせることで学生自身の授業におけるポイントの確認と疑問点を確認できる。次回の授業では、授業のはじめ10分程度必ず復習を行い、リアクションペーパーへのコメントと疑問に答えるように工夫している。人数の関係ですべてのコメントを紹介できないのは残念であるが双方向対話式の授業として成績を見ても成果で手ではいると思っている。今後は、文献資料などを図書館で調査するなどの機会を作り学外での学習時間を増やしてさらに深い知識習得に努めていきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	この授業における目標である知識獲得と実践の両面が達成できたと思える。リアクションペーパーで双方向対話型の授業をしているが疑問に答えるのが次回ということで時間差があるため、リアルタイムに疑問に答えていけるような工夫を検討していきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	江田 康子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代ビジネス人材論	2	前期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機が「必修科目である」が93.5%と高いが、卒業後の夢や目標を叶えるためにも必要な科目であることを理解させながら授業を進めた。 ②昨年度までと同様、学生に夢や目標をプレゼンさせ、リクナビ・マイナビを使い企業研究をさせレポートを提出させた。その研究項目に現代の働き方と企業価値を高める方法を加えた。 ③確認テストを行い、身に付け実践出来るように学生の意識を高めた。 ④参加型授業を行い、自由に質問できる雰囲気を作り、学生自らが挨拶等社会人としてコミュニケーションを良好に保とうと前向きな意識を確認した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は67点であり、再試験対象者は0名であった。全員が合格レベルに達したが、理想的レベルである80点以上に達したものは4名。70点～79点は16名（概ね70点以上として試験を作成）であった。 目標別に見ると、知識理解は平均62%。DP4をプラスして平均点が67点になった。職業人としての礼儀作法やマナー、躰教育として挨拶、聞く態度、立ち居振舞い、言葉遣い等、日々の行動が企業面接に反映され旨、理解が進み意識的に相手に好感を与えるコミュニケーションが身に付いてきていることを考慮した。授業終了後、全員の学生が挨拶をして帰る。人と関わろうとする力、質問に対して誠実に答えようとする力、けして自己主張は強くはないが、人を受け入れる力を多くの学生が持っていた。しかしあくまでも学生レベルであり、企業人（新入社員）としてのレベルとして「やや達成された」にした。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP1、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 DP1とカリキュラムの内容について、知識理解は62%であるが、ビジネス系の検定試験合格ラインは60%を鑑み標準的であり、内容的には妥当であるとする。 ②DP4、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から社会人としての態度に関する達成度は比較的高かった。将来の夢や目標を達成する上で必要との理解が進んだものとする。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業評価において、平均値はすべて4点以上であった。多くの学生が本授業を評価してくれたものと思われる。

②学生の意見として、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「必要ないと思ったから」というものがあった。人と接する全てが学びの場であり、何気ない行動や言葉が、人を混乱させたり不快にさせていないかを考えることも企業人としての成長であり、人間力を付ける上で大切なことである。これも授業の課題以外の学習になる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

社会人としての意識付けと態度は概ね達成できたが、社会人としての知識理解の面で課題を残した。試験の範疇の広さもあるが、小テストを増やして知識を確実なものに出来るようにしていきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松田 千恵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
現代ビジネス人材論	2	前期	必修	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	毎回授業の始めに一週間で読んだ新聞記事について口頭で発表してもらい、レポートとして提出してもらおう事で、生徒に時事問題に関心を持たせるのに役立ったと思う。これは毎年行ってきた良かったと思う。全員が発表したレポートを提出したので良かったと思う。学期開始から一カ月経った頃一度小テストをして生徒の授業に対する理解度を見てその後の授業の進め方の参考になった。昨年度までは私が作成したプリントを配布して授業を進めましたが、今年は教科書を採用したこと で生徒たちが授業を理解するのに役に立ったと思う。テストとしては最終日に筆記試験を実施の結果は74点でした。授業中で実施した実地をどの位実際に出 来るかもテストしましたが10点満点で採点して 平均点は6点でした。それから私は出席が大事だと常から生徒に伝えていたので出席率は良かったと思います。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	レポート全生徒提出、 学期末の筆記試験の結果 小テストの結果 実技テストの結果 等上記の点数の結果から見て 評価は やや達成されたと思います					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科は選択科目ではなく、必須科目であるから受講する生徒全員に就職を目指す時に役立つ人材になれる様に工夫指導をした。仕事をする事の重要性和意義を理解させる事を大切にしたい。学生もその事に対して 或る程度の成績を収めていることから内容は妥当だったと思う。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

来学期からは私の受け持ちでは無くなります。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

長い間この授業を持たせて頂き一杯頑張りましたが行きとどかない所が多々あったと思われます。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	マーケティングは、実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されていない。そのため企業経営におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。また、マーケティング興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞などの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	この授業は上記授業準備で述べた通り、体系的なカリキュラム構成による「経営におけるマーケティングの理解」が困難なため、あくまでマーケティングという学問への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容からやや達成されたと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、昨年同様、基本的問題としてマーケティングの基礎知識としての経営学を学んでいないという、カリキュラム体系上の欠陥から、内容妥当性は評価できない。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。ただし、新カリキュラム編成となる18年度以降については経営学の基礎科目が導入される予定であるので、それ以降に本格的に学習量の向上を図るために来年度は試験的導入を試みたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	国家試験対策であるため、その合格を目的とした。分野としては、国内観光地理とJR等の運賃規則と計算の2分野からなっている。もともとJR等の分野は、細かな規則を覚えなくてはならず、しかも現実の旅行業界では、コンピューター処理されているため殆ど実用的でない。現行の本国家試験の欠点の一つであるとも言われている。その難解さと非実用性が、学生の学習意欲を減退させる側面はある。一方の国内観光地理は、白地図やスライドを使い説明や作業をしていくため、観光を学ぶ学生目線での目的に合致しており、興味は深いようである。この資格は、例えば看護師資格などとなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でJR等の規則、運賃計算の難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もあり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、合格を目指す学生には「夏休み特講」の受講を勧めつつ、通常授業では「標準レベル」の内容とした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	国家試験を目指す授業であることから、ほぼ毎週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

国家試験対策テキストを使用、ほぼ毎週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	国家試験対策であるため、その合格を目的とした。しかし、1年次配当であるため難解な法律用語になじまず、とても合格を目指すレベルの基礎学力がない学生も多い。また、例えば看護師資格などこととなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でその難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もあり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、通常授業では「標準レベル」の内容とした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	国家試験を目指す授業であることから、ほぼ隔週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

国家試験対策テキストを使用、ほぼ隔週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習C	1・2・3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	Toeicの問題をこなし、単語力、ディクテーション能力、速読能力、文法力を伸ばすことに重点を置いた。アンケートでは授業の予習に力を置いた。実際はもっと鍛えたかった。単語の勉強はやった、という学生が多くいたが、もっともっと単語力を身につけさせたかった。昨年度に比べて、授業密度の高い授業ができたと思う。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	単語のテストを毎回行ったが、範囲が多かったのか、25点満点で11点しか平均が取れていない。その分、試験は75点満点で、平均が67点だったので、多くの学生が、教科書を勉強して受けたようである。その結果、平常点を入れて、全体の平均点が、70.28点と低かった。内訳は、S 2人、A 2人、B 3人、C 6人、D 1人であった。Toeic の点数を上げる事に全力を注いだ、学生は、口約束はしてくれるが実行が伴っていなかった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	なかには、「Toeicの出やすいポイントが的確で役立った」、「わかりやすい良い授業」という学生もいたが、苦手な学生がToeicを勉強するようになるには、まだまだ、実力不足な気がする。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、単語を覚えてくるようになり説得をしたが、数人しかまともにやれなかった。でも苦手な人ももっと実力を磨く授業でありたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

私の授業は、やる気のある人には、適切だと思われるが、思っても勉強できない学生に、銅やる気を出させるのが課題である。もっと勉強が進まない原因を分析していかなくてはと思う。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	国内旅行業務取扱管理者試験に合格した者が1名しかおらず、海外旅行実務を指導するには無理があることが最初の授業で判明した。そのため、国内旅行実務の復習をまず行って、その後に海外実務に取り掛かった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	海外旅行実務の基本である国内旅行実務に半分の時間を費やしたため、目標としていた海外旅行実務の修得には至らなかった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	国家資格の勉強を自宅でも行っているという記述が2件あり、科目の趣旨に沿うもので、妥当と考える。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

国内旅行業務取扱管理者試験の合格率が下がっている中で（国内旅行実務を理解していない学生が多い）、今回のように国内旅行実務の復習を授業に含めることは今後とも必要である。その上で、目標設定を上げて、海外旅行実務の指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

今回は初めての担当科目であったため、学生の準備状況を把握できていなかった。今回の経験で、受講前の学生の達成度はある程度で理解できたため、今後に生かしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①英語のreading授業であり、一年次のreading 科目との体系的なつながりの上で、深く読むことができる力を養うことができるようにしている。学生の学習準備性については、選択科目であり、受講動機は「関心のある内容である」が72.2%であり、自発的な内的動機が高いことが確認できる。 ②毎回小テストをしたが、一回目に15回の小テスト予定を配布した。これで学生側は明確な目的を持つことができた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	①最終成績は、Aが15.8%、Bが36.8%、Cが21.1%、Dが21.1%である。②小テストは、同じところを一定の期間をおいて、繰り返した。その二回目以降の方がより正解率が高まっていった。					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①C P、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は、一年次にだけある英語の必修科目群に続く二年次の選択科目である。内容的には上級学年で通訳関係の授業との間に位置する科目であり、その系列の前半の終わりを担う科目である。学生も五割以上がB以上の成績を得ていることから、内容的には妥当と考える。 ②D P、行動目標から見ての内容的妥当性 技術を観点とする自己評価では4.1であり、概ね達成されたと考えられる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に 単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	①昨年度の同名の科目（後期の英文講読Ⅱも含む）の受講者が極めて少なかった。本年度は受講者を増やすために、受講生にふさわしい教材を選択した。その結果受講生は確かに増えた。②学習量の評価は次のようになる。「授業に参加するために、1回30分以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、6回と答えたのが、18名中の12名。また、「授業を振り返るために、1回30分以上の復習をどのくらい行いましたか」に対して、6回と答えたのが、11名となっている。非常に意欲的な取り組みがあったと考える。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	①英語については、二年次は必修科目はなくなる。その中で選択科目を選んでくれる学生の意欲、関心を伸ばすためにも、学生の受講動機に見合う授業を展開できたと思う。その根拠は、授業評価アンケートの授業の質評価である。すべてが4.1以上であり、学生の努力と授業がかみ合ったものと考えられる。ただし、テキストの内容が、日本事象に関わるものもあり、その知識の枠組みを広げるには、授業以外の自分の時間に幅広い読書が必要とされる。その指導の工夫が今後の課題となる。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	選択	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	世界の様々な国のトピックス、観光名所の紹介、現地の人のインタビューが紹介されているテキストを使用し、学生に視野を広げ多文化を理解してもらうこと、そのために必要な手段として英語学習の必要性を認識し、自ら取り組んでもらうことに重点を置いた。前年の教材が難解であったのにくらべ、エンターテインメント性の高い教材を選んだことは、授業をより学生主体のものにするためには良かったと考えられる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	全員が単位を取得できたこと、到達度自己評価において「知識を確認修正したり、新たに得ることができた」が平均値4.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」が平均値4.2と高かったことから教育目標はおおむね達成できたと考えられる。					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP5に位置付けられていることを考えると、「知識を確認修正したり、新たに得ることができた」という部分が最も高い数値を出していることは内容の妥当性の証明になりえる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前回の当該科目で授業の質評価の中で、若干ポイントが低かった「質問に答える機会がつけられていた」に関しては4.4となり今年度の授業の質評価の中では最もポイントが高かった。去年の反省点はクリアできており質評価のポイントはいずれの項目も4.2以上であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

今後は、ディスカッション等を充実できるよう、更なる表現力の向上に努めたい。そのためには、簡単で短い分を使って自分の考えを表明する試みを継続的に続ける必要があると考える。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	教科書「世界の食文化」と「日本事象300選」は学科CPの英語・日本などに関するグローバルな知識と思考能力などを養う教材として適していると思われる。教科書の難易度の観点から、和訳の予習は不可欠な為、準備した予習用紙を学生に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感および難易度を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正および加筆を行った。この作業と同時に、授業では難易度の高い英文の文法解説、内容に関する補足説明を行った。予習用紙は毎回、授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。また学期末には完成させた和訳を全て提出してもらった。「日本事象」に関しては、予習として例文の暗記を指示し、毎回の授業で書きとり的小テストを行った。その際、事前に授業内で例文の文法や語彙の解説を行い、学生の暗記作業の効率化に努めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値(評価50点満点:評価構成は和訳25点と英作25点)は48点であり、再試対象者は0名であった。標準偏差値はSが7名、Aが2名で全員が高得点であった。単位数の確保のみならず、関心のある内容である事を受講動機に挙げた学生が多いことから、真剣に授業に取り組む姿勢が見られ、クラスの雰囲気も良好であった。DP上の各項目においても、平均値を上回る評価が多かった。これは予習のチェックを厳しくした為、自分なりの目標を認識できたためではないかと考えられる。「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」項目では平均値であった。これは質問内容と英語学習の意義をリンクできなかった学生が居たためではないと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性: 英文の精読や英語で日本の生活を説明するなど、洗練された英語のインプットとアウトプットは本科目に相応しい内容となっていることから妥当性は認められる。②DP、行動目標からみでの内容的妥当性: 授業内容から学生には高度な英語力が要求されたが、DPの到達自己評価は平均値を概ね上回る評価であった。これは受講動機にみられるように、学生の関心度の高さと熱意の表れとみられる。和訳作業のみならず図書館、インターネット等を活用し、情報収集が必要であることはシラバスにも明記されているが、これらを活用した学生が皆無であった。オリエンテーションにおける、シラバスの説明の徹底化を図る必要性を感じた。学期末の試験結果と同様に、到達度自己評価が全体的に高い傾向にあるのは、内容への関心度、適切な課題量、授業における理解度等の要因が考えられる。また全般的にクラスの雰囲気も良好で、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価： 予習の徹底化と提出の義務化を図ったために、大多数の学生が比較的高い評価を挙げている。予習に力を入れた指導により語学学習における予習の重要性を認識できたことがこの評価につながったと考えられる。②学習量の評価： 予習範囲の提出を義務付けていたので、大半の学生が予習にかなりの時間を充てていた。但し、復習時間にばらつきが見られたのは各人の本学習に対する関心や熱意の差によるものと思われる。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスの記載を約7割の学生が参考にしてしたが、全員に周知するにはオリエンテーションにおいて、シラバスの内容を確認し、授業の進め方を確実に伝える必要性を感じた。図書館利用者は0名であり、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	教科書のレベルが比較的高かったために、予習や自己学習が困難で、和訳できずに授業に臨む学生が数名いた。但し、知らない単語や語彙は必ず調べてくるようにと指導したので、授業中に文法解説、内容などの補足説明をすると自力で和訳ができ、学期末の和訳用紙には全ての書き込みを完了していた。語学学習は英語力や興味に差のある学生をまとめ、より満足度の高い学習を提供し進めるかが課題となる。そのためには授業内容のみならずクラスの雰囲気作りも必要となる。そのためにはCP, DPのみならず学生の意見や要望にも耳を傾け、分かり易く、身につく授業を行うことを考慮しながら準備を進める必要性を感じた。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	西岡 和子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①同時代のアメリカのベストセラーを英文で読むことにより、英語で読む楽しさを体験させる。 ②全テキストを英英辞書を使用して読むことにより、日本語を介在させない学習法を身につけさせる。 ④正しい発音を練習し、英語学習の出发点である音読できる自信をつけさせる。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	少人数のクラスではあったが、全員が英英辞典を使用して日本語を介在させずに読むことに慣れ、大きな声で音読できるようになった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	英語そのものに対する親和性を高めるために役立つ内容であったと考えられる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生が和訳をしない英語学習により早く慣れるよう、テキスト以外の基礎的練習を先に行った方が学生の負担が軽かったかと反省している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生にとって馴染みのない英語学習方法を取り入れたため最初は戸惑いがあったようであるが、すぐに全員がテキストを読むこと自体を楽しめるようになり、自信がついたと思われる。段階を追って一回の授業で読む量を増やせることが理想であるので、週2回の英文購読で同じことができるのが望ましい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
時事英語入門	2・3・4	前期	選択	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①教科書は英字新聞の読み方に特化したものを使用した。特に英字新聞特有の文法の解説とこの文法を使用したヘッドライン及びリードの和訳を行った。②教科書で取り上げられた時事英語で汎用される単語及び語彙の指導を行った。③教科書とは別に英字新聞特有の文法をまとめたプリントを配布し、時事英語を読む際のハンドブックとして使用するよう指導した。④実際の英語ニュースを視聴し、リードのパートの部分訳を毎回行った。⑤日本の観光に関する記事で使用する語彙を取り上げ、解説および和訳を毎回行った。⑥時事英語は背景となるニュースに関する知識が重要であることから、図書館の利用や新聞、テレビ、PC等で情報を収集するよう指導した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は77点で、再試対象者は7名であった。標準偏差度数はSは29名、Aは22名、Bは16名、Cは10名、Dは7名であった。昨年度と比較して平均点は9ポイント下がっている。語学学習であるにも関わらず、86名という学生数の多さから、学生の監督が行き渡らず、学習意欲のある学生とそうでない学生とにクラスが二分された感がある。到達度自己評価は平均値に集中し、特に「コミュニケーション力や表現力を高める」と「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」と「職業選択の参考になった」項目では低い評価を付ける学生がいた。科目の性格上、アウトプットよりインプットに重点を置いた結果だと考えられるが、国内外のニュースを中心に取上げたことで、学生の興味にばらつきがあり低下したとも考えられる。全体的に学生はより身近な話題に興味を示す傾向があるため、ニュース等で国内外の事象に関心を持つようにと指導をしたが、図書館等の利用者数も低く、違った切り口で学生の興味を誘導する必要性を感じた。さらに、語学の授業としては受講者数が非常に多く、学生への指導および質疑応答の機会が限られたこともこの要因の一つと考えられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性： 英字新聞の基本構造への理解を深めることにより、学習を通して英語で時事的な話題に対する理解、関心、興味を深めることができる事を目標に授業を進めた。これはCPの「学びと現代社会・関係諸領域との関係を理解する」目的と内容的に妥当性があると考えられる。②DP、行動目標からみでの内容的妥当性： DPでの「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「知識を確認、修正、新たに得る」「事象の理解」「検討する力」「学びの意欲」は平均値が多く、「コミュニケーション力や表現力」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考」という評価はこれに比較して低かった。この点から、学生の国内外における事象を身近なものとして感じない、つまりニュース等に対する関心の低さが推測できる。時事英語の教材としては、硬軟取り混ぜて使用することに努めているが、学生の興味を誘導を更に身近な話題から始める必要性を感じた。またDPの「的確に判断する力を得ることができた」は期待以下の数字となり、英字新聞特有のルール等を更に具体的に指導する必要があると感じた。しかし、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」では比較的高い評価を示していることから本科目の目的に適っているいと判断し、内容的妥当性には問題がないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価：「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が与えられていた」の評価が低かった。大人数の語学授業にも関わらず、和訳や練習問題の解答など学生に参加する機会を務めて作ったが、大人数の中での学生の発表は声の大きさに左右され、一部の学生には聞き取りづらく、教員が復唱する結果となり、授業中での発表機会が少ないと感じた学生がいた可能性もある。②学習量の評価：授業に参加するための予習、復習をしなかった学生が約7割近くに上り、今後、授業中での復習を兼ねた小テストやレポートの提出を検討している。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスを参考にした学生は約半数であり、選択科目として単位数を確保するためと答えた学生数とほぼ一致することから、本科目に対する関心と単位数の確保のための学生とに二分された結果となった。オリエンテーションでの本科目の目的と内容に関する情報を確実に伝える必要性を強く感じた。図書館利用に関しては時事英語入門の科目としては、利用者数が少なく、国内外の事象を学習する観点から、情報収集が学習内容の一つであることを指導する必要があると感じた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	時事英語入門という位置付けから、英字新聞や英語ニュースに汎用される文法、語彙の習得は概ね達成できたと考えられる。但し、選択科目は単位数を確保する目的で受講する学生が多い中、本科目は受講動機で約半数の学生が関心のある内容であることから選択している。このことを踏まえて、オリエンテーションで授業の情報を的確に伝え、語学知識を広めるだけでなく、国内外の事象に対する関心を深めるために情報利用や図書館利用を行うことを義務付ける改善を行いたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2・3・4	前期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	・大切にしていることは、①学生が国際経済の事象に関心をもつこと、従って、国際経済に関する記事に目が行くようになること、②今年起きている国際経済の出来事や最新のデータを示しつつ、どういう意味を持つのか理解させること、などである。 ・授業計画では、広く国際経済の諸事象を取り上げ、関心をもつこと、学ぼうとするもののきっかけを作ろうとした。特に、外国為替の部分、貿易政策の部分はポイントとなる旨伝えた。授業準備では最新の新聞報道などの情報やデータを伝えることに努めた。 今年は、6月に英国のEU離脱決定といった大きな出来事が起き、この日本への影響もあることを示したことなどから、学生の国際経済への関心が少し高まった感があり、望ましいことであった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の「自分なりの目標達成」は英語学科3.5、観光文化学科3.1とまずまずであり、「やや達成された」と考える。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は英語学科3.5、観光文化学科3.4であり、また、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は英語学科3.5、観光文化学科3.3であり、知識理解は「やや達成された」と考える。「的確に判断する力を得ることができた」は英語学科3.5、観光文化学科3.2であり、同様に思考判断は「やや達成された」。「学びを深めたいと意欲をもつことができた」は、英語学科3.5、観光文化学科3.2であり、意欲関心は「やや達成された」と考える。 全体を通して、以上の見方に加え、期末試験を含む総合点の結果は、英語学科（16名）平均78.8点（2015年前期77.9点から若干上昇）、観光文化学科（27名）72.1点（同72.9点から若干低下であるがほぼ同水準）であることから、「やや達成された」、あるいは「達成された」に近いものがあると考える。 なお、両学科合同の授業であったが、上記の通り、学生の到達度自己評価も成績も、英語学科の方が観光文化学科よりも上回っている。これは、授業で受け取った書面での質問を見ても、英語学科学生からの質問の方が、国際経済社会への意識の高さを反映していたよい質問が多かったと感じられたことと符合する。観光文化学科学生も国際的視野をより強く持つようになることが望まれる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	人文学部と両学科のDPにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「社会人としての基礎的な学力」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および学生の上記到達度自己評価、上記の学生の一定の成績から、内容的には妥当と史料する。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・配付教材に沿った解説は今後も続けていきたい。国際経済の理論より実際に起きている事象の理解に重きをおき、学生の関心を引きたいと思っているが、一方、初めて経済を学ぶ学生が多いことから、理論・理屈についても十分説明して理解を向上させるようにもっと努める必要があるとは感じる（例えば、インフレの国の通貨は何故安くなるのか、自国通貨が安くなるとなぜ輸出しやすいのか等）。 ・「むずかしい」との学生コメントが授業中のアンケートで示され、質問票に丁寧に答えることで対応してきた。授業評価では「説明が早くてわからなかった」との感想も寄せられたが、「説明は理解しやすい」が英語学科3.5、観光文化学科2.8となって、昨年2015年度前期の英語学科2.9、観光文化学科2.4～2.7という低水準からは改善されたので、その点は喜ばしい。引き続き、質問票への丁寧な回答、授業中での学生を指名してのやり取りなどを通して、分かり易い説明をさらに心がけて参りたい。大事な言葉をゆっくり話す、教材の「穴埋め」部分を繰り返し言う、図や絵をもっと多用して解説する、わかり易い事例を使つての補足説明をもっと多くする、といったことを心掛けたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	・総括的には、昨年度より学生からの評価が改善されていると認識しているので、さらに改善するように取り組んで参りたい。特に、上記6の課題、すなわち、分かりやすい説明の必要性を認識しているので、初めて経済、国際経済を学ぶ学生に親しんでもらえるように、経済って面白いと思ってもらえるように引き続き取り組んで参りたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2・3・4	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	昨年度からの開講科目であり、「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためにはテクニカルタームの理解が必須である。そのテクニカルタームの解説と理解促進に重点をおいた。授業テキストは特に用いてはならず、担当教員の作成した配布資料で進行していくため、予習は特に課していない。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「やや達成された」と考えられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの受講動機と学習到達度の自己評価(1)(2)からDPとの内容的妥当性はあると考えられる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

この科目は上述のように開講2年目であるため、昨年度は受講生のレベルが見えず、毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。本年度は授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

科目の性格上、テクニカルタームの説明中心の授業進行となった。課題は学習量の維持（特に復習）の工夫。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅰ	2・3・4	前期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目では欧米の中において特に西欧の観光文化地理について授業を行なった。西欧（あるいはさらにその各国、各都市の）観光文化、社会、地理などの形成と特徴について詳細に論じた。西欧は学生達に渡航先として人気のパリやローマ、ロンドン、ウィーンなどを含んでおり、興味を持って受講してもらうことができた。成績についても単に期末試験のみによるものとせず、1ヵ月に1度、A4用紙2、3枚程度のレポートを課し、これらから総合的に採点した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	多くの受講生は真剣に受講してくれたが、履修登録者数71名という比較的人数規模の大きな講義だったため、参加する姿勢としてほめられたものではない受講生も残念ながら多少いた。本来の単位修得率は75%（71名中53名修得）、追試で1名修得し、それを含めると76%となる。また、4年生で就職活動などにより欠席回数が多く、レポートも未提出という理由、さらに、ほかの学年でも出席日数不足を憂慮したという理由で、期末試験の受験をあきらめた者もいた。そうした受講生（9名）を除けば、87%（62名中54名修得）となり、9割近くの受講者に単位を修得してもらうことができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	上記4でも触れたが、71名の履修者という比較的人数規模の大きな講義であったため、履修者すべてに目が行き届かず、結果的に実力的に13%の受講生に単位を認定することができなかった。そうした中でも、「後ろの数列は座ってもらえないようにする（なるべく前に座ってもらう）」、「1ヵ月に1度、レポートを課す」、「図表や写真などを多く使用し、視覚的にもわかりやすい講義を心掛ける」といった工夫をした。今後はこういった点を活かし、さらなる努力をしたい。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	すでに上記5でも触れたが、担当者としては様々な工夫を凝らした。そういった中であっても、どうしてもやる気の出ない、倦怠感が見られるような受講生も多少はおり、単位を認定することができないということにも繋がった。可能な限り、声掛けをするなどして、大人数の講義でも目が行き届くように心がけたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	全体としては充実した講義になったのではないかと認識している。受講者71名の中にはしっかりとノートをとるなどして、レポートや期末試験で好成績を収めた者も多い。一方、欠席が多くみられたり、出席しても明らかにやる気の見られないような者もいた。伸びる受講生はさらに伸ばし、やる気のない受講生は少しでもやる気を出してもらおうよう、工夫していきたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中級中国語	2・3・4	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	中級中国語はすぐに役立つ生活場面の会話文を学習する。入門・初級中国会話で学んだ基礎知識を復習しながら、口語文を中心に進む、また基礎的な中国語の総合的な能力を高めるために、できるだけ会話の練習をしてもらう。学習者の自信を引き付けるようにしてきている。さらに文法の理解を確認するために、中国語で日記を書いてもらったり、長文を作ってもらったりしていた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものの7名となった。目標別にみると、知識理解・技能表現に関して85%であった。学生による授業評価においては、①授業の課題以外に学習してない理由としては授業の中だけで十分だったから。授業のことだけで精いっぱいだったから。②授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習としては、よくノートを見る、などを挙げられる。近年中国語の検定試験を受ける学生が減少しているが、次年度に受験できるような体勢を整えていきたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見て、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の評価においては「いつも楽しく授業が受けれました」、「とてもわかりやすく楽しい授業でした」、「とても丁寧に教えてくれたので助かりました」などがあったが、学習者の発表時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては学習者に積極的に授業に参加するよう工夫を凝らしていきたい。また欠席常習者が欠席しないように指導を加えたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	基礎的な知識だけでなく応用能力を高めるために毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り会話練習を取ること、じっくり文法の消化を加える時間がなかったため、授業中に練習時間と予習課題の提示などで改善を図る。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光ハングル	2・3・4	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	○「ハングル1、2」の上級クラスとして旅行会社などでのインバウンド・アウトバウンド業務をこなせる語学力を身につけることを目標にしている。しかし毎年のことではあるが今年も学生たちはシラバスを熟知しておらず、韓国語学習歴がない学生が半分近くいることが開講後に判明した。開講後実施したアンケートで（学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施）「新しい言語に触れてみたい」や「韓国旅行の際便利そう」など積極的な意見が多く学習意欲が見えたので、多少の方向転換を加えることになった。 ○「ハングル1、2」を受講した学生と全くの初心者混在するクラスだったため文法説明は極力控え、文型を用いるスピーキングとヒアリングに重点を置いて授業を進めた。また毎時間テストを行い、反復練習に力を入れた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	定期試験ではインバウンド業務を想定した面接試験と筆記試験を行った。全員がヒアリング力が付いており、韓国語で適切に答えることができたため平均87.12点の成績を収めることができた。 授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。また「専門分野においてさまざまな課題を検討する力を得ることができた」や「専門分野において的確に判断する力を得ることができた」でも高い満足度が見られたことから、多少の方向転換はあったものの今後の進路に役立てたいという本来の目標を達成することだった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように想定していた成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。 DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。 まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ここ数年シラバスを読まずに履修登録をする学生がいる。そのことも想定して授業計画を立てているが、語学力の差がある学生全員が納得いく授業を行うのは容易ではない。
もっとフレキシブルな授業ができるように工夫をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

インバウンド・アウトバウンド業務をこなすという具体的な場面を想定した語学クラスで話す・聞く力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことによりすぐにでも仕事で使える実力がついたと思われる。来年度も引き続きよい結果を出せるようがんばりたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	浅田 壽男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム英語	3	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	単に英語力全般のスキル・アップを目指すだけでなく、「ツーリズム」〈観光業、観光案内業〉や観光文化学科にふさわしい内容の英語の授業を意図して実践した。テキストを用いながら、特に英語圏の諸外国主要都市の文化やそれぞれの国民性などについて、受講生それぞれにテーマを与え、調べた内容を発表してもらい、全員で質疑応答しながら、諸外国の理解を一層深めてもらうことを目指した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	本クラスは、科目や授業内容に大きな関心を持ち、熱心に取り組んだ受講生と、その一方で安易な気持ちで（必修科目ではないという意識から芽生えるのか…）授業に臨んだ受講生との極端な2グループに分かれたが、学期末試験の成績を見れば全体の平均点が当初の最低目標とした6割を越え（平均62点）、また受講生1人1人に研究発表をしてもらった発表内容や、その結果をレポートにして提出してもらった成果を総合する限り、当初の目標は、ほぼ達成できたと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科として本科目は、当然のことながら、必須であり、内容的にも全く妥当なものであると考えている。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業内容に大きな関心を持ち、熱心に、真剣に受講した受講生は、全員、学期末試験の成績素点が抜群に良く、また提出してもらったレポートの質、量、内容共に極めて優れていた。第1回目の授業の開始に当たり、シラバス通りに1回目を進めようとしたが、ほぼ全員がテキストを持たずに出席して来たので、急遽、臨機応変の処置として、英文を書かせて、授業への導入をしなければならなかった。またさらに、受講生が当初の教室では収容しきれず、いったん大教室へ臨時移動し、後日に新たな教室へ移動しなければならなかったり、不測の事態が続いて、遺憾ながら授業の進捗には少なからず影響を受けた。この度のアンケートの中に、1名が「先生の個人的な話が多すぎて授業が進まなかった」との意見が寄せられたが、ツーリズムや観光文化という面で、あえて授業担当者自らの留学中の体験や知見を話して、授業への関心や諸外国（特に英語圏）への興味を持ってもらいたいという意図で話を挟んでいたもので、決して無駄話をしたとは思っていない。しかし、今回のアンケートを通して、そのような意見を持つ受講生もいることがわかったので、今後は一層、慎重に授業を進めたいと考えている。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	おしなべて学期末試験の成績や授業中の受講生それぞれの発表内容、さらにそれをまとめて提出してもらったレポートの成果から判断して、当初の目標はほぼ達成できたと考えているが、全受講生の半数近くが3回以上の欠席をしている現状は憂慮すべきで、今後は特別な理由無く、安易に欠席した場合には、これまでもやってきたが、それ以上に、授業受講と同等かそれ以上の努力を要するレポートや研究課題を課すなどの方策を講じて、これからは受講生全員が足並みをそろえて熱心に受講できる体制が整えられるように努め、より良い授業を求めて行きたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3・4	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」85%、「関心のある内容である」20%、となっております。学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 2 最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 3 授業中に会話・翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が理想のレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、意欲関心に関しては50%、技能表現に関しては、40%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、25%で、インターネットの利用に関しては、35%となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「ツーリズム中国語」であるが、中国語の通訳ガイドになることをつなぐ要の位置にあり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価（70%）をはじめ、各項目については、評価が良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

中国語の通訳ガイドになることをつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光フランス語	3・4	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	志望動機によれば最も多かったものが「関心のある内容である」が75.0%、次いで「単位数を確保する」62.5%、「資格取得に必要である」12.5%だった。全受講者の中で1・2年次にフランス語を履修していた人は28%であり、継続してフランス語を学びたい学生が一定数いることが分かる。昨年度と比べると受講者数が減少し、少人数のクラスとなったぶん、個別対応が容易にできるようになった。学年をまたぐクラスであることと、学習履歴に差があることを考慮し、まずは活動グループのメンバーに偏りが無いよう工夫した。就職活動による欠席者が多いことが予想されたため、前回の授業内容をおさらいする時間を始めに設けた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は79.5点(±65点)であり、再試験対象は1人で、再試験は受けなかった。その1人を除き全員が標準的レベルに達し、理想的レベルの80点以上に達したのは64%(14人中、S評価5人、A評価4人)であった。平均値を下回るC評価(60点台)に該当するのは1人(7%)だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは、DP1「知識・理解」、DP2「思考・判断」、DP3「関心・意欲」、DP5「技能・表現」のいずれも100%という結果だった。本科目の該当DPは5「技能・表現」のみだが、その他のDPでも高い自己評価となった。学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは56%であった。就職活動やゼミなどに時間を割かねばならない生活の中でも、半数以上が学習時間を取っていたことが伺える。授業中の感想としては「楽しくフランス語を学べた」「フランスに是非行ってみたいくなった」等の声があった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「専門教育科目」の中の「専門基幹科目」であり、「専門基幹科目」の目標「観光文化学科における教育の骨格となる分野の基本をより具体的に理解するとともに、専門展開科目を履修するにあたっての基本的領域について理解する」に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは100%であることから、内容として妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった（平均値は3.8から4.3）。毎回、具体的な目標を提示しそれに向かって授業を進めていくことで、目標達成もしやすかったものとする。「観光フランス語」という本学独自の専門的な科目においては、半期では収まらない広汎なテーマが考えられ、一般的な指標のようなものも存在しないため、何を学ぶべきか見極めることと、その教材を工夫することが欠かせない。インターネット利用については、WEBの学習サイトで小テストを受けることを課題とした。この形式だと授業を欠席した際も遅れを取り戻せて効果的だった。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「専門基幹科目」の意義にふさわしいと思われる授業内容であった結果、高い自己評価が得られ、ほぼ全員が一定の成績を残すことができた。選択科目では学習時間があまり取れない中、学習意欲が低下したり、ただ単位を取得するためだけに教室にいるのはもったいない。DP5「技能・表現」をレベルアップさせるには「授業の進め方とその向上について」で述べたように、テーマ設定を再検討し、「観光」の面でより実務的で役に立つフランス語を身につけられるカリキュラムづくりが必要である。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3・4	前期	選択	はい	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	貿易、投資など国際ビジネスの諸事象の実務的な仕組みを理解させること、最新の動向に関する情報を提供し理解させることに重きを置いた。また、国内外のビジネスシーンでよく使われる用語を多く説明し、理解してもらえるように努めた。就職活動でも役立ててもらいたいとの狙いもある。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・授業評価において、「自分なりの目標を達成できた」が英語学科3.1、観光文化学科3.0なので、「全体を通して」および、下記の成績評価から、「やや達成」とした。「知識を新たに得ることができた」が英語学科3.2（昨年度2015年度2.7から上昇）、観光文化学科3.1（2015年度3.3から低下）、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が英語学科3.2（2.8から上昇）、観光文化学科3.0（3.1から低下）、以上から「知識理解」を上記とした。「学ぼうとしている専門分野において判断する力を得ることができた」については、英語学科3.9（2.4から上昇）、観光文化学科2.9（2.9から変わらず）、ここから思考判断を上記の通りとした。「学びを深めたいと意欲」については、英語学科3.0（2.6から上昇）、観光文化学科3.1（3.0から若干上昇）であることから、「意欲関心」を上記とした。上記の通り、英語学科学生の到達度自己評価が観光文化学科学生を上回るといふ、昨年度と逆の数値となっている。これは、受講動機が、英語学科は32.3%が「関心のある内容である」のに対して、観光文化学科のそれは12.9%であり、関心度の違いから来ているとも思われる。また、それは次の通り、成績面での逆転にも表れている。すなわち、総合点平均は英語学科 81.3点（31名）（昨年度2015年度前期 72.9点 15名）、観光文化学科 74.8点（39名）（2015年度 76.6点 52名）であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・人文学部と両学科のDPにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および上記の学生の目標達成状況、学生の一定の成績実績から、内容的にはほぼ妥当と史料する。なお、本科目より後期「多国籍企業」の方が難しくなく（テーマ性があり）面白いとの学生の見方があるが、本科目「国際ビジネス論」は、国内外のビジネスの基礎的な諸事項の仕組みや理屈などに関する基本的な知識、社会に出てから必要とされる知識・考え方を伝えることに重きを置いているので、内容的には続けて参りたい。但し、学生に馴染みのある企業の実例をもう少し多く扱うなど、学生にとってもっととつき易いものにする工夫が必要かもしれない。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に 単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	・学生からは厳しい批判を受け取った。「ひとりよがりな授業で、何を言っているのか、よく理解できなかった。タフな授業だった」「一人で話して いるみたいで分かりづらい」などである。これまでも一番厳しいと言える意見であるが、真摯に受け止めて改善に努めたい。進め方として、質問票に は丁寧に答えたつもりであり、また、授業中に学生を時々指してやりとりしたが、もっと多くやりとりを増やし学生の理解を確認しながら丁寧に説明 することをもっと心掛けたい。今教材のどこを扱っているか、努めて確認しながら進めたが、また、WORDの教材の文字を1.3倍に拡大して画面表示し たのだが、まだ分かりにくい部分があったのかもしれない。 ・「プリントが多い」については、広範にビジネス全般を扱い少しでも多く基本的知識を伝えたいと思って配付しているが、学生にとっては消化不良 なのもかもしれない。貿易実務の部分など削除する部分を増やすことを検討したい。「プリントを先まで配りすぎ」については、予習してほしいので そうしていることを理解してほしい。 ・一点、教務課にお願いがある。今回の341教室は来年度は変えて頂きたい。縦に長い、PPT画面は（331と異なり）正面に一つしかなく、総勢70 名の両学科学生が何度言っても前に座ってくれないこともあり、学生にとっては見えにくかったと思う。また、教員が使うPCを置く台から画面が見 にくく、画面とPCの台との間に段差があって行き来があまり円滑にいかず、また学生の方に歩いて行きにくい構造であった。従って、学生との授業 中のコミュニケーションが取りにくいのは感じていた。 ・学生の指摘に「テスト前のテ ストに関する質問にあまり答えてくれない」は当てはまらないと言える。テストの範囲、重点事項は「ここは大事」と授業中に何回か伝え、記述式 問題については事前に注意点を十分伝えた。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	課題は引き続き、分かり易い説明の強化であろう。「理解を高めて、期末試験では平均70点台後半となるよう」にしたいと昨年述べたが、今年度期末 試験の成績については、英語学科平均78.5点（31名）（昨年度2015年度68.9点から向上）、観光文化学科71.4点（39名）（2015年度72.8点から若干低 下）であったことから、狙いの一部は達成できた。また、一番大事な「説明は理解しやすいものであった」は、英語学科2.8（2015年度の2.3から改 善）、観光文化学科2.8（2015年度2.8から変わらず）と若干改善したものの、不満足なものである。学生に伝わっていないことを十分認識し、本科 目の授業の質の向上に重点的に取り組みたい。一部の学生にとっては、コース必修であり、学生の就職活動に役立つ知識であるとの認識もあるので、期 待にこたえていきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化交流論	3・4	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」71.4%、「関心のある内容である」35.7%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は82点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては76%、意欲関心に関する問題は60%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、21%で、インターネットの利用に関しては、14%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化交流論」となっており、インバウンド観光を勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が79%であった。次年度でも、学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化交流論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア文化交流研修A	1・2・3・4	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	中国の大連大学の夏期研修に参加する。研修出発前の12回の授業に加えて、現地での約3週間の研修を受けることで、この授業の完成を遂げる。日本での授業に出席し、現地での研修を受けることで単位を取得できる科目である。日本で講義は中国の歴史、地理、政治、経済、文化等学ぶと同時に現地での生活に必要な中国語会話、表現能力を身に付ける。さらに大連大学での研修期間に大連周辺の観光や中国人の大学生との交流、大連にある日本企業の見学、在北九州の事務所の訪問などを実施する。6コマ目に確認テストを行い、学生の学習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが理想的レベル「概ね95点以上として試験を作成」に達したものは9名のうち7名となっていた。学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得ることができた観点での自己評価にかなりそうだと思う」と「新しい知識を身に付けたいと考えられる」。「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意識をもつことができた」。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においてはそれぞれ9名と高かった技能表現に達している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性。 本科目は「専門展開科目」であるが、「専門応用科目」と「専門展開科目」をつなぐ要の位置にある。国際社会、異文化への理解を高めるために学生が受講した、この課題に応えるように工夫し、学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性。 成績評価から意識関心に関する達成度が比較的高かった。特に中国大連大学への三週間の研修を通して、学習者全員が異文化に対する関心が高くなってきていることも、内容的には妥当であったと考える。 ③まとめ 以上からの内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物など評価基準は明らかであった」
「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」
「説明は理解しやすいものであった」
「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生参加する機会が作られていた」
「口頭。文書などで学生の質問を受け付け、答える機会が作られていた」については高く示されていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門応用科目の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形式については概ね達成できたが、コミュニケーション能力の面で課題を残した。この点は「専門展開科目」で結びつき、引き続きで指導する予定である。
学生に中国語で日記を書いてもらっているが、来年度により綿密に実施することを行いたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語で話す日本の心 I	3・4	前期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course focused on providing Tourism and English Department students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and his home stay family.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on 4 criteria (passive participation 30%, active participation 22%, homework 28%, and a final test 20%). The majority of students received scores in the 70s and 80s.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Although student interest was evident, class size continues to make it difficult to engage with them individually and forced adjustments in instructional design to emphasize pairwork and weekly class preparation/class review assignments. The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will include frequent class review/class preparation assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

The biggest challenge in the coming year will be to design lesson plans ideally suited to the number of students in the class. I continue to feel that a a class limit of 40-50 students would allow for a more productive student/teacher ratio, and more focused classroom energy.

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習 I	3・4	前期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①学生になるべく多く発言させるよう工夫した。発言した学生には、発言回数を記入してもらった。 ②受講動機は、単位数確保が64.3%、科目への関心が、50%で、資格取得を目指す科目であるにもかかわらず、資格取得に必要と回答した学生はいなかった。 ③単語試験や小テストを、その日の授業内容を範囲にして授業の最中に行ったりして、集中力を高めさせた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない			どちらともいえない		どちらともいえない
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度自己評価において、学びを深めたいと意欲を持っている学生が、平均値3.3、専門分野の技術を身に着けることができたと考えた学生が、平均値3.3なので。学習量については、予習復習0回と答えた学生が15人中、予習2人、復習4人と、関心の低い学生が見受けられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	資格試験の合格を目標としており、動機付けについて苦慮する面もあるが、学生も一定の成績を収めていることから、内容的妥当性に問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価については、評価基準、範囲や課題、発言の機会については、ある程度の評価だったが、「説明の仕方」については、さらに改善が必要だと感じた。学生の理解度をチェックしながら授業を進めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

英語学科と観光文化学科合同の授業だったので、学生にも戸惑いが見られたし、関心の持ち方の違いも感じられた。今後は更に、授業の課題以外の自発的学習の充実にも取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2・3・4	前期	選択	いいえ	82

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、多くの学生が単位数の確保のためと回答しており、ビジネスに関係する法制度等に興味を抱いて履修する学生が少数であるので、今後は履修した上で興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生が多かったので、上と同様に今後の課題としたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法に関係する学問は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらなければ、概要プリントの配布も検討していきたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、具体的な課題を課す等、積極的に改善を目指して取り組んで行きたい。また、就職活動に対する配慮や休講についての連絡等についても検討をしていきたい。また、受講生が教室の後ろに集中して座っているので、座席指定についても必要に応じて実施していきたいと考えている。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3・4	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	広告宣伝は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されていない。そのため企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	この授業は本年度初めて開講された科目であり、上記授業準備で述べた通り、体系的なカリキュラム構成による「経営におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容にからやや達成されたと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティングの基礎知識としての経営学を学んでいないという、カリキュラム体系上の欠陥から、内容妥当性は評価できない。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業の導入、グループワークの導入など授業の進め方については問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松笠 裕之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3・4	前期	選択	はい	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は、専門科目として配当学年が3・4年生ということもあり、専門的な内容となっている。昨年まで「ホテル研究」と「ホテルマネージメント」の2科目開講されていた科目を「宿泊産業論」として1科目とした。比較的生活に密着した題材を取り扱う科目であるため受講生全員が興味を持つような話題を中心に授業を行っている。毎回の授業では、授業のポイントとコメント、疑問などを書かせて完結するように工夫している。さらに、期末テストで一夜漬けで覚えることがないように中間テストを実施している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業への出席状況並びに毎回のリアクションペーパーと中間テスト、最終テストの計2回の筆記試験を基に成績評価を行った。結果S評価14%、A評価26%、B評価37%、C評価21%、D評価2%でS評価とA評価で40%となっている。授業評価アンケートでは、宿泊産業論の授業で興味を持ち、ホテルの見学を行った学生もいたため、実践的な部分での評価もうかがえる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、CP、カリキュラムマップとの妥当性については、配当学年が3・4年次という専門科目であることを考慮し、社会人としても使える知識の取得を目標としている点について妥当と考える。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	毎回の授業でリアクションペーパーを学生に書かせることで学生自身の授業におけるポイントの確認と疑問点を確認できる。次回の授業では、授業のはじめ10分程度必ず復習を行い、リアクションペーパーへのコメントと疑問に答えるように工夫している。人数の関係ですべてのコメントを紹介できないのは残念であるが双方向対話式の授業として成績を見ても成果で手ではいると思っている。今後は、グループで宿泊産業における問題点などを討論できるような機会を作りさらに深い知識習得に努めていきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	この授業における目標である知識獲得については概ね達成できたと思える。リアクションペーパーで双方向対話型の授業をしているが疑問に答えるのが次回ということで時間差があるため、リアルタイムに疑問に答えていけるような工夫を検討していきたい。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア・デザイン論	3・4	前期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この科目は福岡県内のさまざまな業界の講師によるリレー講義である。業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス等で構成された。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していない。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートの「到達度自己評価」から「やや達成された」が妥当と考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの受講動機、到達度自己評価(1)(2)から内容的妥当性はあると考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているのが問題は無いと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていると思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性（インターンシップ先企業への依頼等）があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インターンシップ	3・4	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は受講生の関心度の高さが示すように学生が間近に迫っている就職活動への準備と何よりも「働くことの意味」と「企業とはなにか」を理解する事に重点をおいている。授業準備は特に要求していない。これは授業内容の演習課題による授業内容の理解補強を重視しているからである。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	知識理解(DP1)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)とともに、到達度自己評価(2)、(6)、(9)、(10)の結果から全体を通して「やや達成された」と思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	就業体験後の報告書からは学生の職業意識の向上は達成されたとと思われるが、就業先によっては学生の期待とはかけ離れた就業体験内容となっていることもあり、事前の体験内容リサーチが課題ではあるが、それを担当教員のみで行なう事は非常に困難である。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	この授業は企業での就業体験が主たる目的であり、就業体験前の授業内容は、その準備という位置づけから「話し合う」「発表する」等学生参加型授業ではないし、今後もし取り入れる考えは全くない。本学科3年次にもかかわらず、学生の礼儀・作法のレベルがあまりにも低いと、むしろ、企業に派遣して恥ずかしい、派遣先で問題を起ささないレベルの準備をさせる、ひいては本学ブランドを失墜させないためには、学生の意見を尊重する必要はなく、講義型の授業がふさわしいと思われる。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	就業体験後の報告書からは学生の職業意識の向上は達成されたと思われるが、就業先によっては学生の期待とはかけ離れた就業体験内容となっていることもあり、事前の体験内容リサーチが課題ではあるが、それを担当教員のみで行なう事は非常に困難であり、昨年度と変わらない。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目ではほか7つのクラスと共通の教科書が指定されていたが、それだけでは不十分であったので、まず大学人として「常識を疑う」というところから始め、発想力の涵養、レポート執筆に役立つよう参考文献の調べ方など大学で学ぶにあたって必要なことについて追加して授業を行なった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講生は全員真摯に取り組んでくれたため、極めて授業を行ないやすかった。出席も全員ほぼ皆勤であり、レポート等の課題もしっかりとこなしてくれたため、全員に単位を付与することができた。成績としては全員「優」以上である。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	すでに上記の3で示したように、今後の大学での学びに必要なスキルや考え方について身につけてもらった。受講者は全員1年生ということもあり、フレッシュな気持ちで臨んでくれたこともあって、「学習到達度」も高い水準で達成することができた。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

クラス共通の教科書が内容や構成といった点でいまひとつ物足りなく、また、古いものであるため、使いにくさもあった。この点は次年度以降の課題となると考える。「授業の質」についても高評価で、受講者の「学習量」についても必要充分だと考えるため、特に問題はなく充実した授業となったと認識している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

受講者全員がしっかりとやってくれたので、大変有意義に授業を行なうことができた。受講者（1年生）には今後の大学での学びに際し、本講義で学んだことを活かしながら取り組んでくれたらと考える。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	大学初年次教育として必要な基礎学力の養成に重点をおいた。また、学科共通テキストを使用したため進捗にも気を遣った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートから学習到達度の自己評価では目的を達成しているが、学習量の評価項目レベルが低いため上記状況とした。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの「学習到達度自己評価については高い達成度を示しているためDPとの内容妥当性は評価できると思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量レベルが低いため、課題提出等の工夫が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。後期科目である「基礎演習B」と体系的な構成、授業進行が検討課題と思われる。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	入学後間もない学生が受講しているということを念頭に置き、大学の授業の特徴などが分かるように、ゆっくりと丁寧に説明を行った。アドバイザーを担当している学生たちということもあり、授業以外のことでも相談ができるよう、温かい雰囲気を持続した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成されなかった			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	「十分理解できた」と回答した学生がいる一方で、「何をすればいいかわからなかった」と回答した学生がいた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当である。
---	---------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「何をすればいいのかわからなかった」と回答した学生があり、授業を短く区切って、細かな目標を立てながら進めていく必要があると感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

受講学生数が限られた科目であり、全員が100%理解できるように、抜け目なく、丁寧に授業を進めていく必要を感じた。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①入学最初の大学での演習・研究科目であり、少人数で開講されている。高校から来たばかりの学生には、中身が見えにくい科目名であるが、最初のオリエンテーションでシラバスを配布して、丁寧に説明をすることで不安感を取り除くことができるようにしている。②この科目を設置した目的の一つは、専任教員が少人数を担当することで、学生相互の、そして学生と教員が話せる人間関係をもつ学習集団作りをすることだった。また、その利点を生かして、入学直後の休学・退学を減らすことであった。その点では成功していると言える。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された			達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①成績の原簿となる素点段階では、6名の受講者中の、Aが2名、Bが3名、Cが1名だった。達成度評価では、「試験」がないので、日頃の提出物、授業の取り組みがなされているかどうかが大きかった。②学生による授業評価においては、「知識理解」の観点では4.4、「思考判断」の観点では4.2であり、到達の自己評価の7つの項目は、最低が「意欲」の4.0であった。しかしながら、「意欲」は、当科目のDP項目ではないので問題はない。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門科目」で初めて新入生が学ぶ必修の演習・研究科目である。知識注入型の授業ではなく、学生の積極的な取り組みが求められる授業であり、そのような科目に慣れるという意味もある。それは、 ②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 技能は到達度自己評価で4.2、表現力は4.6であり、十分であると思われるので、内容的には妥当であると思われる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価では、「説明は理解しやすいものであった」が、全項目で最も低い4.0であった。少人数であり、学生の顔が見えることの利点を今後も生かしていきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	演習研究科目との最初の出会いであり、演習研究の授業が面白い、興味深いと思わせるような仕組みを盛り込んでいる。15回の授業の最後の方の、13、14回目に学科行事としてのディベート大会を開いている。学習集団が出来上がりがつつある時期でもある。そのような時期に、授業の一部と空き時間を使い、ディベート準備のグループワークを始めさせた。それぞれが自分の持ち味を発揮して、グループ内に居場所を見出すような準備をさせた。学生たちは、「面倒くさいことはしたくない」と当初はかなりの不満を言っていた者もいたが、あえてその「面倒くさい」グループワークをさせることで、集団作りをしていった。学生も最終的には、優勝という結果を得たことで、達成感を得た。ただし、勝ち残れば残るほど準備が大変となり、前期授業の終わり頃に、他の授業の負担との兼ね合いが難しい時期を迎えることになった。次年度は、授業を2回使うのであれば、その時期については見直しを学科で考えたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	必須科目で、学科の統一テキストを使用した。しかし、それだけでは、「演習」の目的が達成できないので、授業の1回分（90分）の半分をテキストによる講義、後半をそれらを活用した演習に当てた。たとえば、テキスト「情報検索」の項では、実際に図書館の協力を得て、ライブラリーツアーをし、予めテーマを決めさせて、それに合致する文献を検索して借り出す課題を与えた。また、「書く」の項では、その文献から要約と問題提起レポートを書かせ、さらに「発表する」の項目では、そのレポートによる発表を課した
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の授業アンケートによる。到達度、情報利用などの項において読み取れる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	初年次基礎演習のいわゆる、読む、書く、発表するなどの初歩的な学習能力養成の観点からほぼ妥当と思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「読む、書く、発表する」までは一定の効果を得たが、「議論する」がほとんどできない。指名しても答えられない。そこで、一つの発表に対して、質問や感想などの発表をした学生にその回数を記録し、議論の後に回数を公表する手法を取ったところ、やっと発言するものが出た。要するに、主体的な発言ではなく、追い込まれての発言と言える。学生が選ぶテーマも社会性があるものから選ばせたが、比較的難しいテーマを選ぶものが多く、それに対する議論ができなかったのも要因と考えられる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「読む、書く、発表する」の基礎能力は一定程度身につけられたとして、「議論する」ができない。それが、2、3年生になっても、他大学学生に比べて劣位にあることに気づかない。なぜなら周囲がそうだから。早く、他大学学生と交流するなどして、キャンパス内にとどまらない刺激を得る方が、手段としてはいいのかもしれない。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1年次必修科目であり、導入教育を扱う重要な科目であるとして臨んだ。 大切にしていることは、高校と異なる大学での学び、とくに論文を作成する取り組み姿勢を理解させること、調べたり本を読む習慣をつけさせること、自分の主張を論理と論拠をもって述べる楽しさを味わってもらうこと、などである。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・「全体」について、「自分なりの目標を達成した」の平均4.0であり(昨年度2015年度前期3.0から改善)であり、上記の通りと思う。「知識理解」については、4.0であり(2015年度 3.0から向上)、上記の通りとした。但し、学科統一テキストに沿って、レポート・論文の書き方を学んだが、論文の初めに追求すべき「問い」をしっかりと立てていないこと、資料の出所表示をきちんと書くなどルールが十分に身に付いていない部分が散見されたので留意したい。「思考判断」については、「課題を検討する力を得ることができた」4.3、「的確に判断する力を得ることができた」4.2であること、また、論文が一応筋道立って書かれていたので、上記の通り考える。『技術表現』については、パワーポイントを使ったプレゼンの経験などを通して、「必要となる技術を身につけることができた」4.0となっており、上記の通りと考える。 ・なお、図書館利用や学術データベースについては、6人中5人が利用した(昨年度2015年度は8人中ゼロ)ので、大いに改善し、喜ばしい。図書館への訪問、視察などが有効だったと思う。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学科統一のテキストを使い、大学での学び、論文や口頭プレゼンの仕方などを演習を通して学び、導入教育として内容的に妥当であった。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に 単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	・「説明は理解しやすいものであった」が4.0となり、2015年度の2.8から改善したので、嬉しい。引続き理解度に沿った丁寧な説明、学生の動機づけを心掛けたい。 ・なお、学科の学年全体で実施したディベート大会への6名の取り組み姿勢にやや物足りないものがあり、やはり一回戦で敗退したので、今後動機づけを改善したいと思う。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	・今年度のプレゼミ生の取り組み姿勢は（昨年度と比べて）前向きであり、ますますと言えよう。一方、ゼミ対抗のディベートに参加して、準備を十分に行い熱心に取り組んでいた他チームから良い刺激を受けた模様であり、そういう自分たちの気づきから、今後に期待したい。 ・また、一部の学生は、当初自分に自信がないように見られたが、論文も仕上げる事ができ、プレゼンも行って、自信を得て前向きになった様子が伺え、大変嬉しい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①基礎演習 A は高等学校教育から大学教育への円滑な移行を図るための基礎教育として位置づけ、まず大学での学習方法を理解してもらう。大学での学習には不可欠な要素である「文献を探す」「読む」「書く」「話す」のアカデミックスキルの基礎を修得することを目指す。 ②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。学習者の関心事を新たに加えた。 ③8 コマ目まで「知へのステップ」教材に沿って授業を進めてきた。9 コマ目から「女性の本格」という本を中心に学習してきた。学生を主体として司会、発表、自主性を引き付けるようにしてきている。最後に教員が講評する。 ④学生全員に毎回レジュメ感想文を書かせたり、発表させたりして学習意識及び方法を高めるようにしてきた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として、総合的に作成)に達したものは2人と限られた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は基礎演習科目である。専門演習科目、卒業研究をつなぐ要の位置にあり、必修である。内容的に妥当であると考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.7と高かったが、「説明は理解しやすいものであった」の平均は4.1と低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度に向けては、説明方法を検討するべきである。なお、図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後できる限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	基礎演習Aは、基礎的知識の形成、学習の方法については、概ね達成できたが、2年までアドバイザーとして常に連絡し、指導を引く続けていく必要がある。
------------------------------	--

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」100%、「関心のある内容である」100%となっており、履修者が「基礎演習 A」では、何を学ぶかについて、よく理解できていることが分かる。履修者のニーズに合わせて、良い教育をすることができるように工夫したい。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は92.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、思考判断、技術表現に関しては83%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、技術表現の観点での自己評価に差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、20%となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、技術表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「基礎演習 A」であるが、「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習ⅠA	2	前期	必修	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	これまでの演習系の科目で学んできたこと、これからの演習系の科目で学ぶことを意識して、連続性を持たせ、かつ、無駄がないように毎時のテーマをこなした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	34名中の28名が80点を超える成績であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当である。
---	---------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テーマによっては、学生の理解が十分でないものもあった。ごく一部ではあるものの、自分自身の教授方法を改善する必要があると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生はよく学習ができていた。これが定着するように、授業の後半部分においては復習に時間ももっと割きたいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習ⅠA	2	前期	必修	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は2クラスから成り立っており、どちらも内容は質的研究についてであった。両クラスとも共通する教科書を用いたが、教科書の中の事例はやや古く、構成としても少々使いづらさはあった。また、同書は主として卒業論文など論文執筆に向けた（向いた）内容でもあり、履修の対象が2年生前期ということから、履修者本人達からすれば、「遠いお話」で、あまり現実味を持ってもらえなかったように感じた。当クラス担当者は2016年度に本学へ移籍してきており、教科書の選定も含め、授業運営についても1つのクラス担当者と事前に十分に話し合う機会がなかった。これを踏まえ、来年度はもう1つのクラス担当者とよく協議して、よりよいものにしていきたいと考えている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	上記3に関連するが、指定教科書の内容としてはあまり受講者の興味関心を引いたようには感じなかったが、授業は真摯にわかりやすく行ない、また、受講者各人の努力もあって単位修得率は94%（34名中32名修得）と高い数値を出すことができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	上記3、4にも関連するが、指定教科書に関しては再考する余地が多分にあり、これはすでに1つのクラス担当者ととも照会済みである。来年度は「やや達成された」から「達成された」となるよう真摯に邁進したい。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「演習」科目ということで、特に双方向の授業を心掛けた。受講生には授業中に積極的に意見を訊いたり、また、1ヵ月に1度、A4用紙2-3枚程度のレポートを提出してもらったりした。その結果、自分で考えるという作業に慣れてもらうことができ、今後の人生に繋がる一助となりえたと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

すでに示したように授業の工夫や丁寧な対応により、概ね良質な講義となったと思うが、一方で教科書選定については課題もあり、この点を次年度以降に改善できるよう真摯に努力していきたいと思う。